

2.2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

2.2.1. 学習の状況

(1) ふだんの勉強の仕方

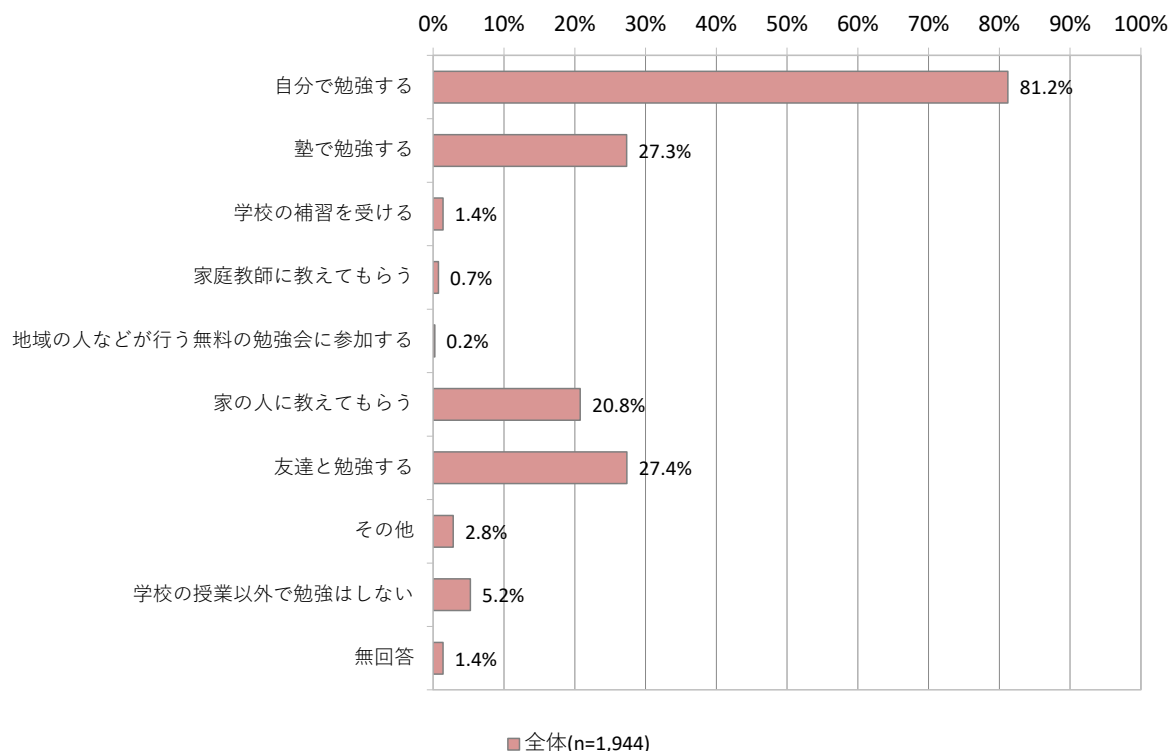
中学生票問2

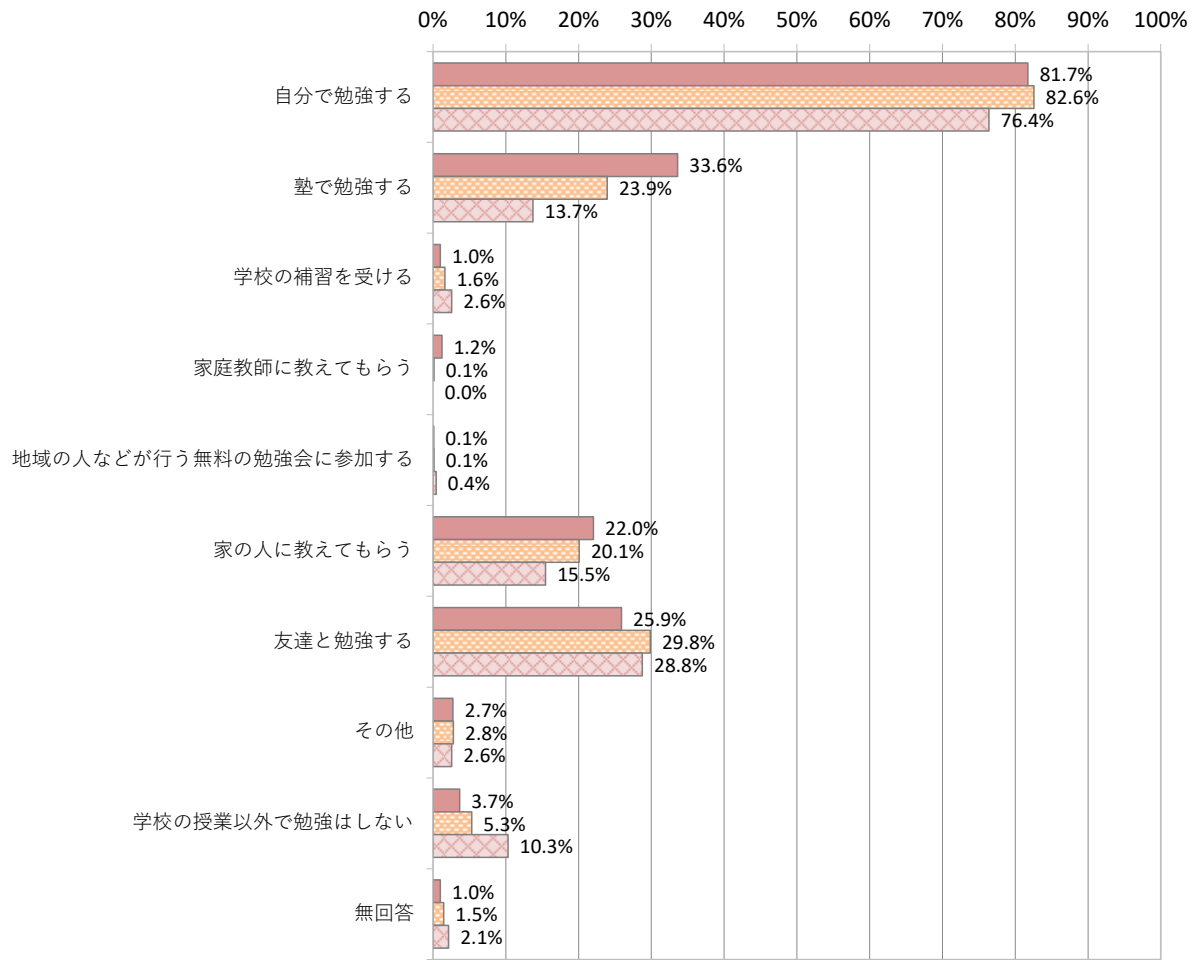
あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が81.2%、「友達と勉強する」が27.4%、「塾で勉強する」が27.3%となっている。なお、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合は5.2%となっている。

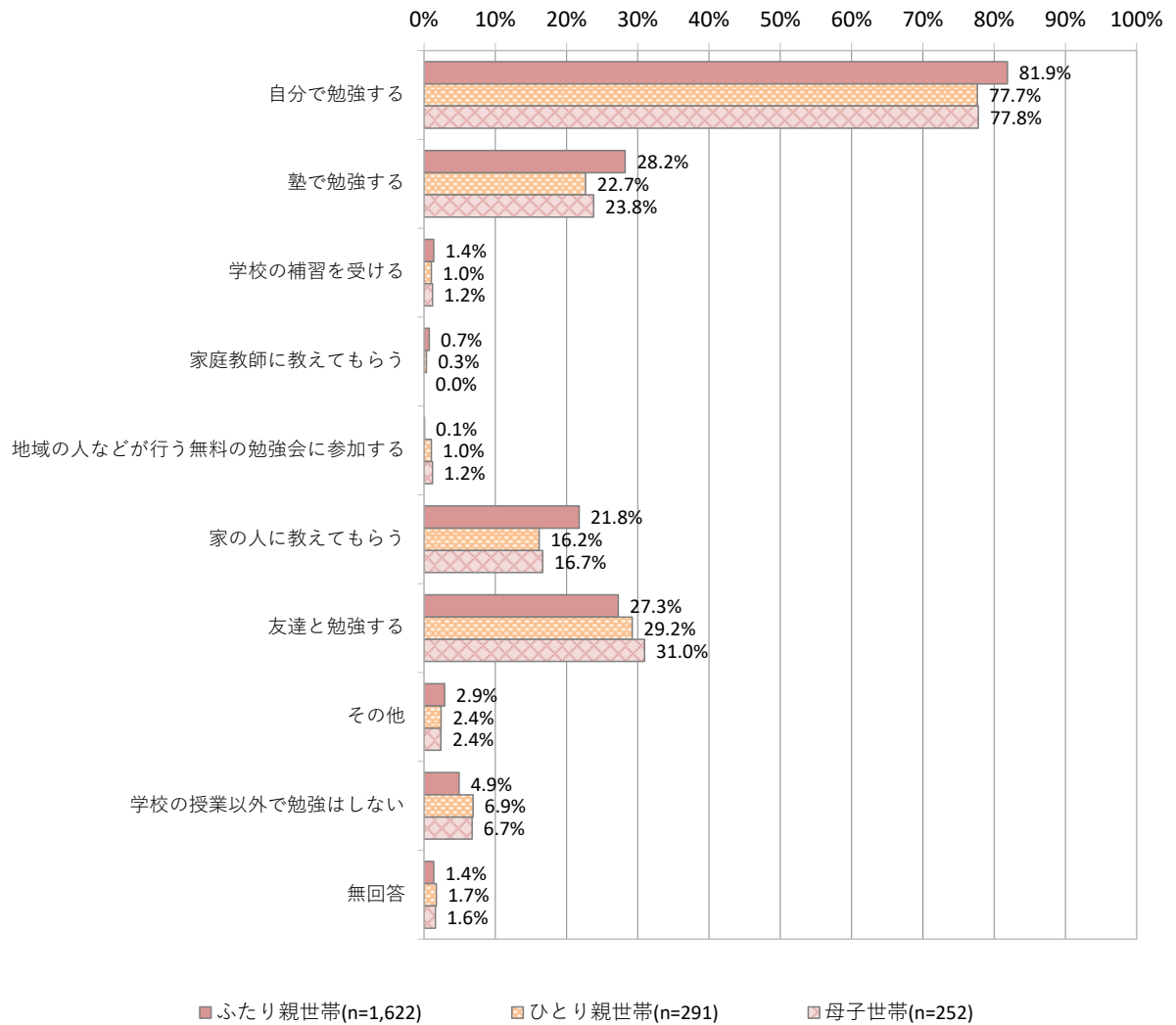
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分で勉強する」が76.4%、「塾で勉強する」が13.7%、「家の人に教えてもらう」が15.5%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。他方で、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合は10.3%で、他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」の場合には、「塾で勉強する」が22.7%、「家の人に教えてもらう」が16.2%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(2) 1日あたりの勉強時間

中学生票問3

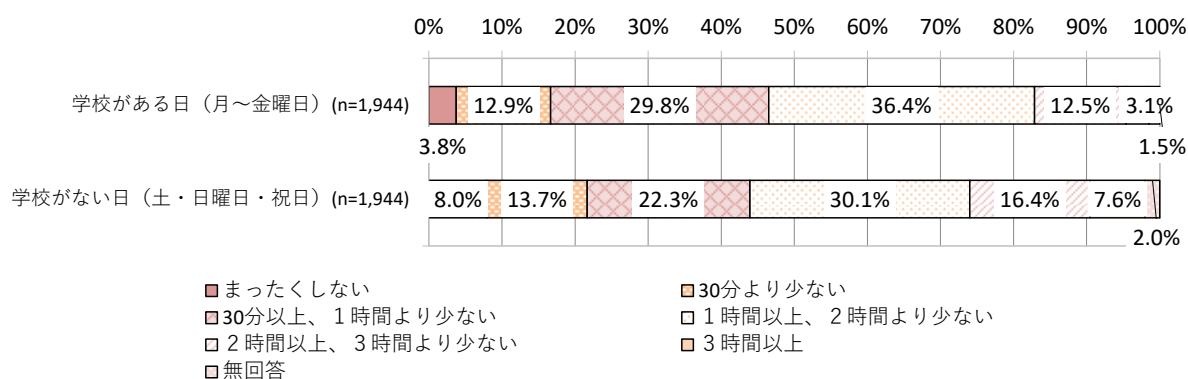
あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(SA)

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がある日(月～金曜日)」では、「1時間以上、2時間より少ない」が36.4%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が29.8%となっている。また、「まったくしない」は3.8%となっている。

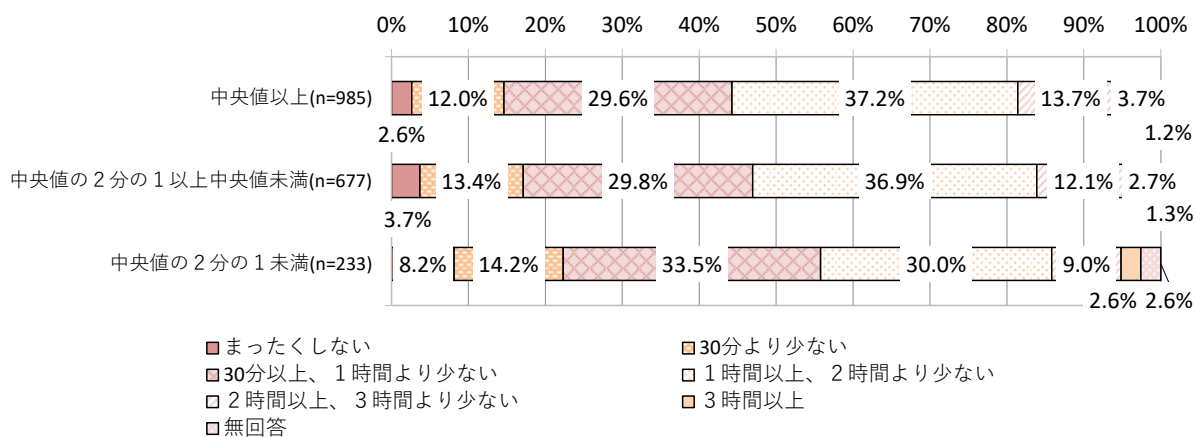
「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では、「30分以上、1時間より少ない」が30.1%で最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が22.3%となっている。「まったくしない」は8.0%となっている。

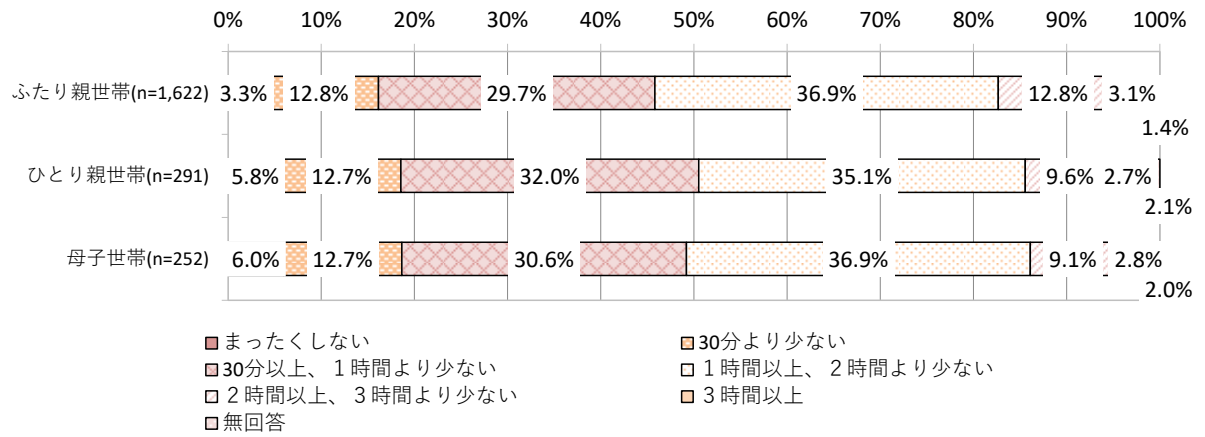
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日(月～金曜日)」では8.2%、「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では16.3%となっており、それぞれそれ以外の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「まったくしない」の割合が、「学校がある日(月～金曜日)」では5.8%、「学校がない日(土・日曜日・祝日)」では13.1%となっており、それ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

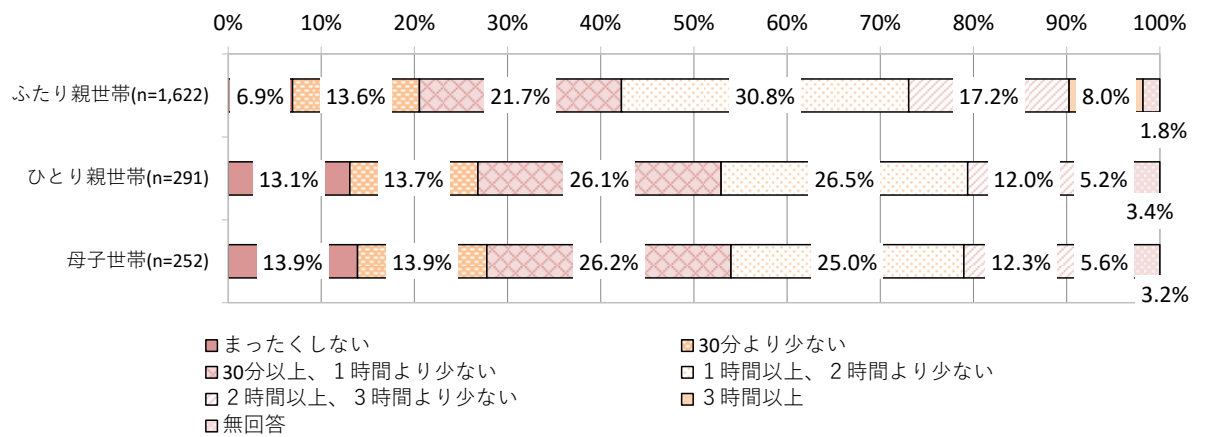
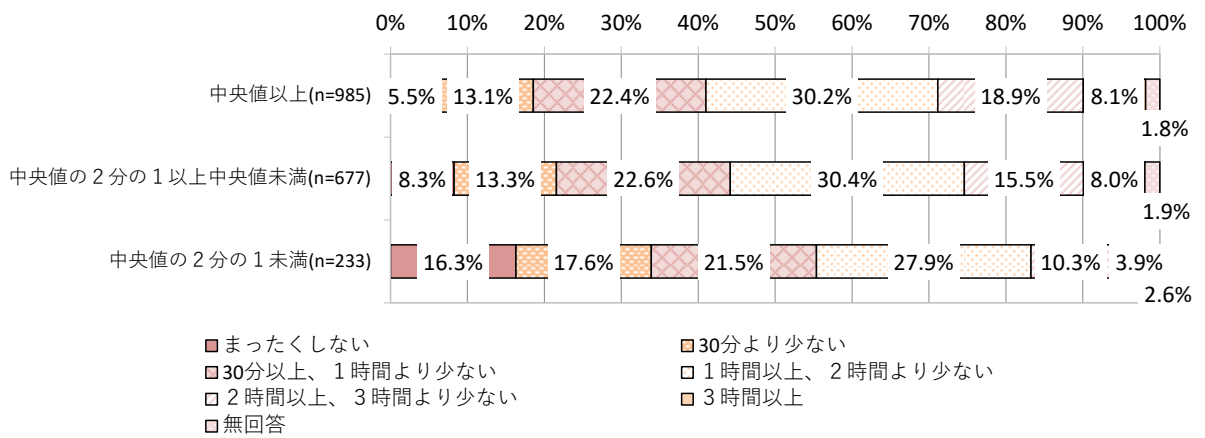


※学校がある日 (月～金曜日)





※学校がない日（土・日曜日・祝日）



(3) クラスの中での成績

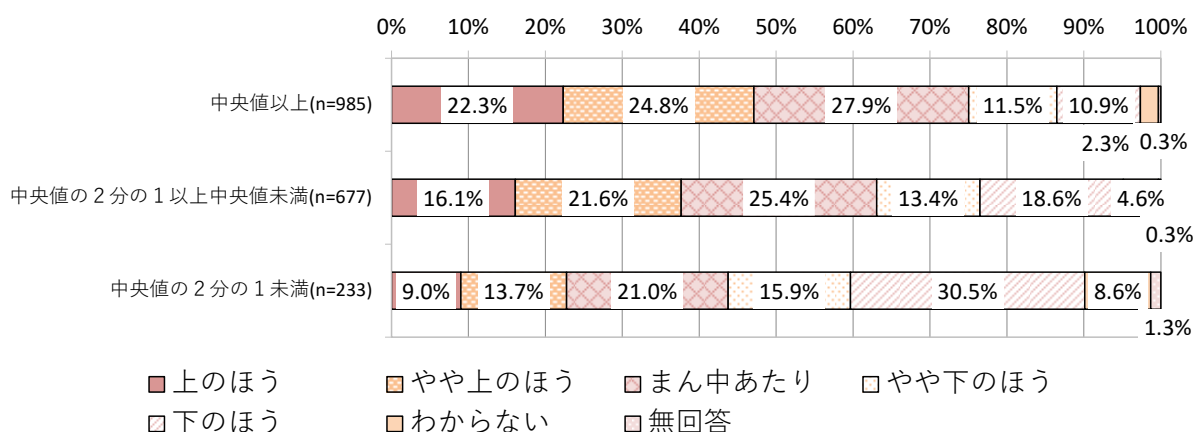
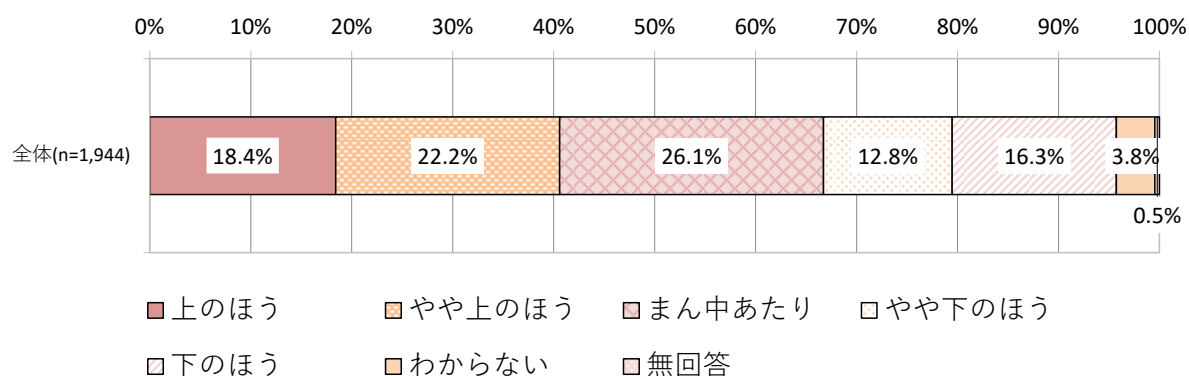
中学生票問4

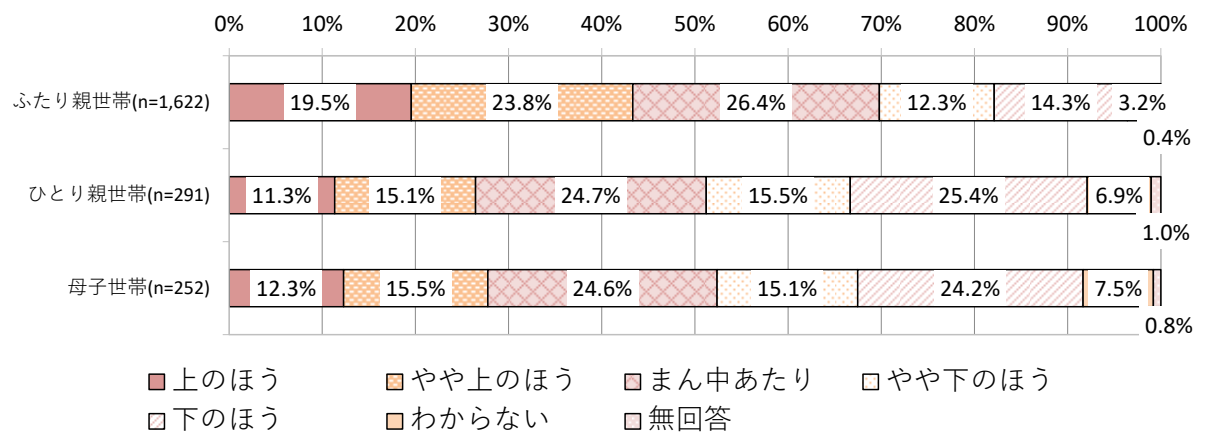
あなたの成績は、クラスまたは学年の中でどのくらいだと思いますか。(SA)

クラスの中での成績については、「上のほう」は18.4%、「やや上のほう」は22.2%、「まん中あたり」は26.1%、「やや下のほう」は12.8%、「下のほう」は16.3%、「わからない」は3.8%となっている。「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は29.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では22.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では46.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「ふたり親世帯」では26.6%、「ひとり親世帯」全体では40.9%、「母子世帯」のみでは39.3%となっている。





(4) 学校への通学状況

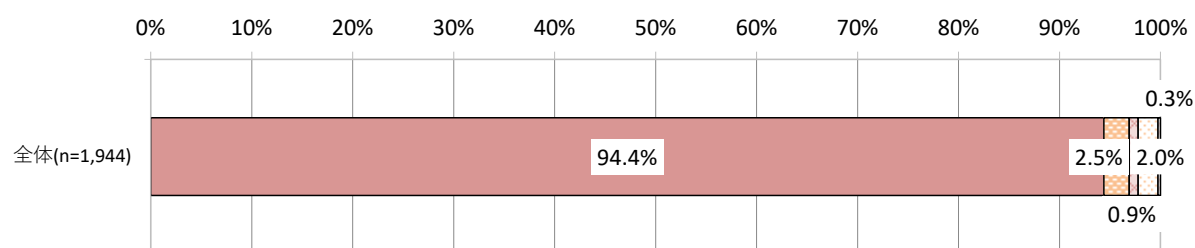
中学生票問5

あなたは学校にどのくらい通っていますか。(SA)

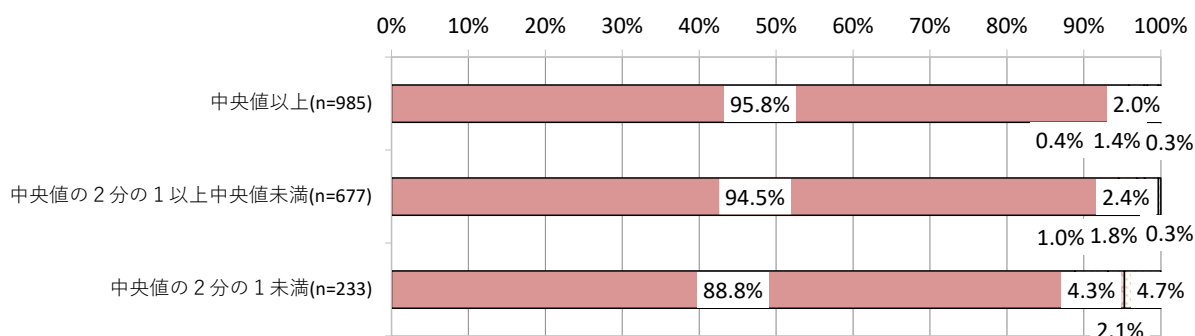
学校への通学状況については、「毎日（週5日）」が94.4%、「週3～4日」が2.5%、「週1～2日」が0.9%、「ほとんど通っていない」が2.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「毎日（週5日）」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では95.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では94.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では88.8%となっている。

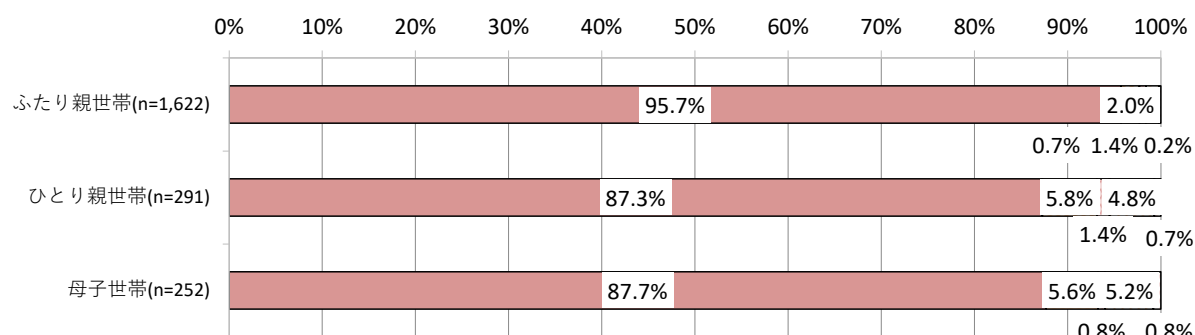
世帯の状況別にみると、「毎日（週5日）」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では95.7%、「ひとり親世帯」全体では87.3%、「母子世帯」のみでは87.7%となっている。



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答



■ 毎日（週5日） ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
 □ ほとんど通っていない □ 無回答

(5) 授業の理解状況

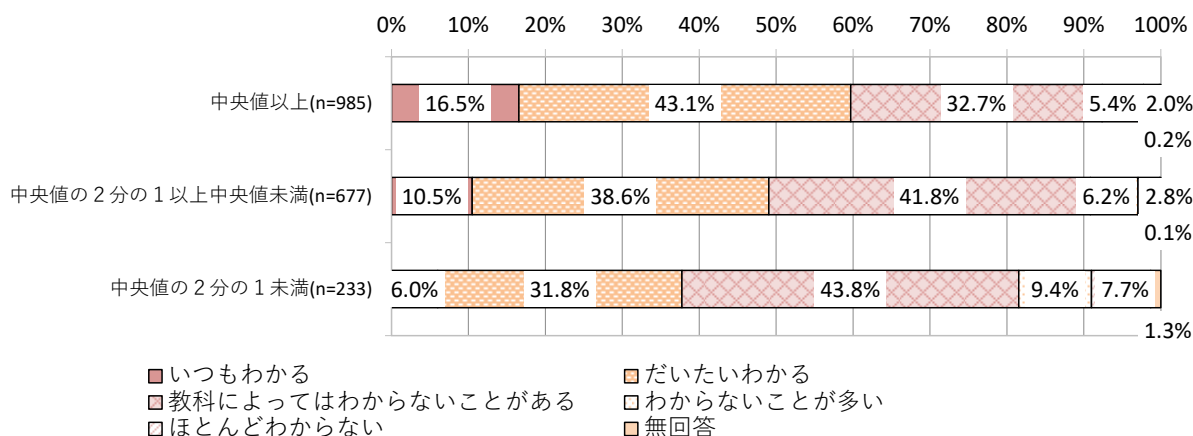
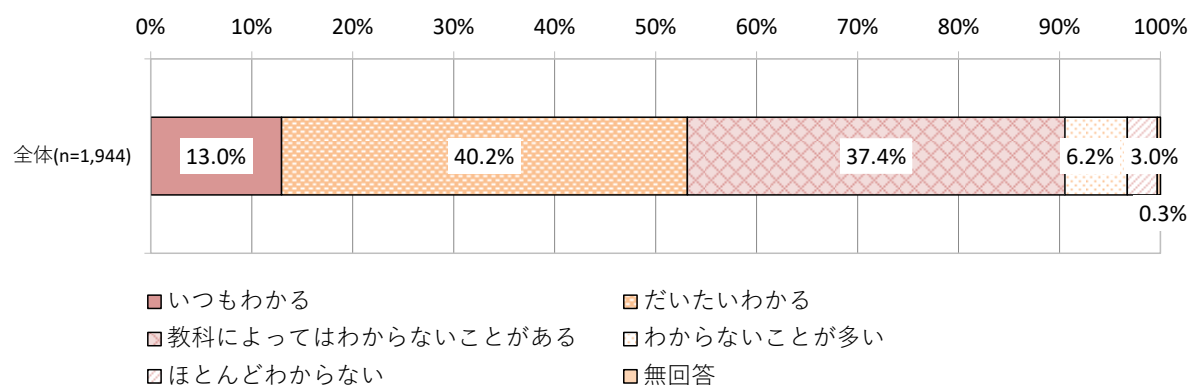
中学生票問5-2

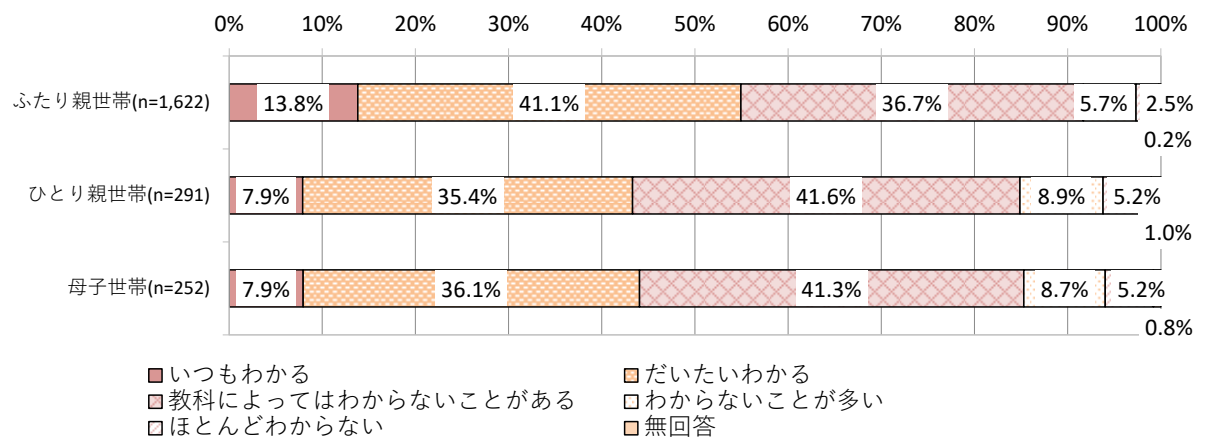
あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(SA)

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」が13.0%、「だいたいわかる」が40.2%、「教科によってはわからないことがある」が37.4%、「わからないことが多い」が6.2%、「ほとんどわからない」が3.0%となっている。「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は9.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では7.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では17.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では8.1%、「ひとり親世帯」全体では14.1%、「母子世帯」のみでは13.9%となっている。





(6) 授業がわからなくなった時期

中学生票問6

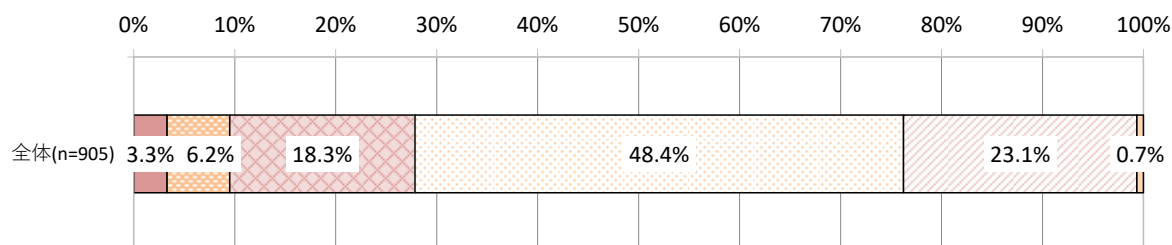
授業の理解状況の間で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」を選んだ場合、いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(SA)

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が3.3%、「小学3・4年生のころ」が6.2%、「小学5・6年生のころ」が18.3%、「中学1年生のころ」が48.4%、「中学2年生になってから」が23.1%となっている。

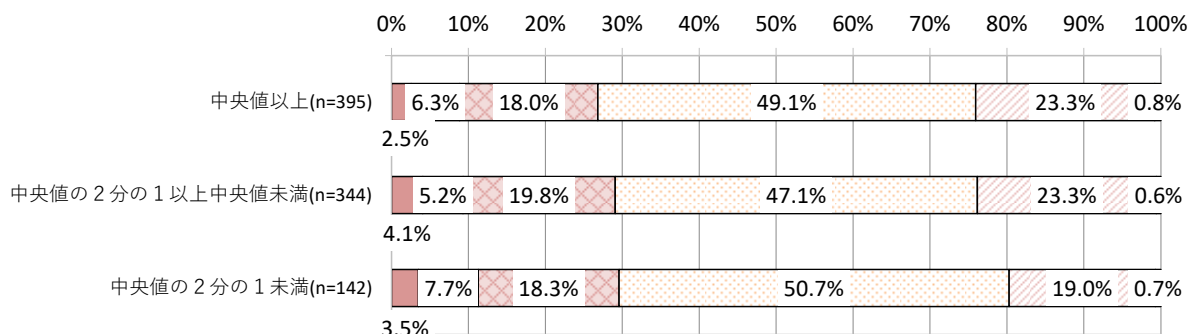
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、授業がわからなくなった時期について「中学2年生になってから」の割合が19.0%で他の世帯と比べて低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「中学2年生になってから」の割合が19.1%で「ふたり親世帯」と比べて低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。

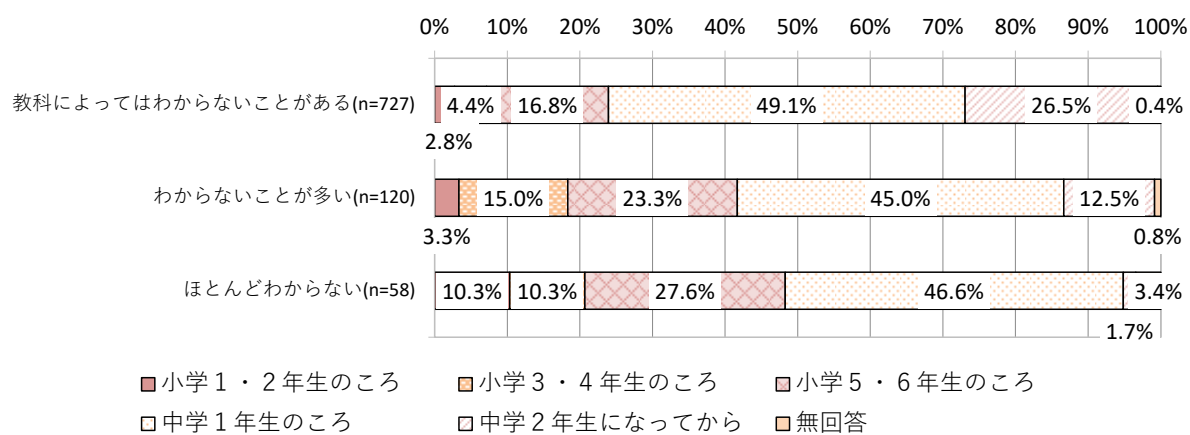
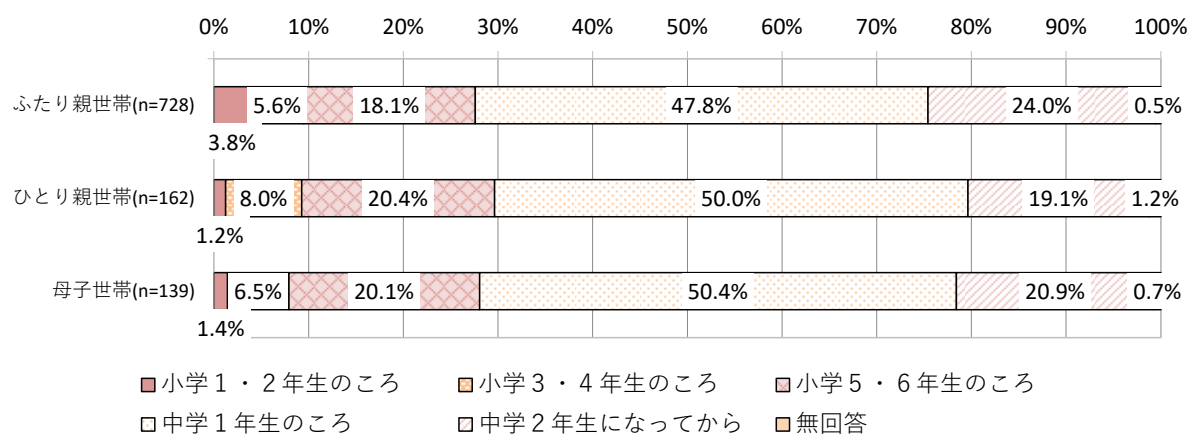
また、授業がわからなくなった時期について授業の理解状況別にみると、授業の理解状況の回答がいずれの場合も、授業がわからなくなった時期の回答は「中学1年生のころ」の割合が最も高いが、「わからないことが多い」や「ほとんどわからない」と回答した場合には、「小学5・6年生のころ」の回答割合が2割超、さらにそれよりも早い時期であるとの回答が約2割となっており、早期からわからなくなったと回答する割合が高くなっている。



■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ
 ■ 小学5・6年生のころ □ 中学1年生のころ
 □ 中学2年生になってから ■ 無回答



■ 小学1・2年生のころ ■ 小学3・4年生のころ ■ 小学5・6年生のころ
 □ 中学1年生のころ □ 中学2年生になってから ■ 無回答



※授業の理解状況別集計結果

2.2.2. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

中学生票問7

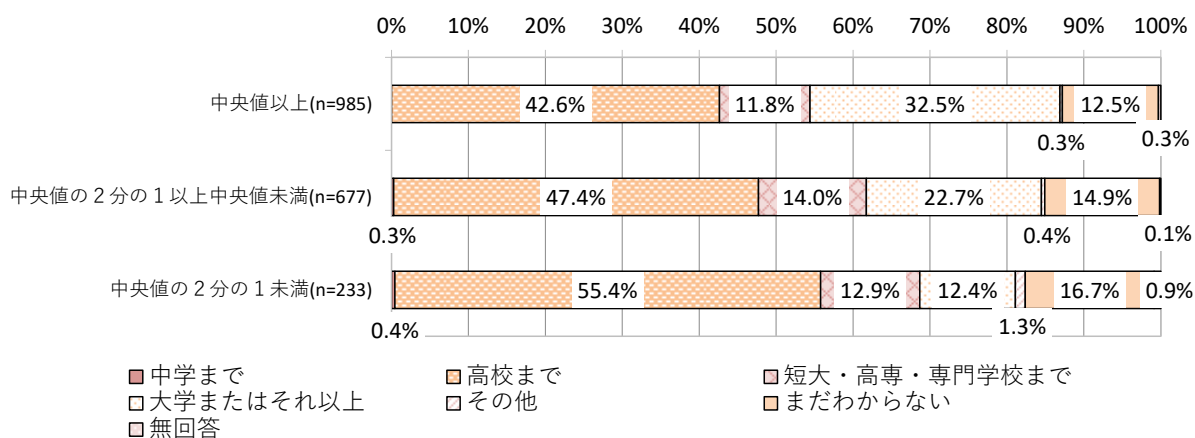
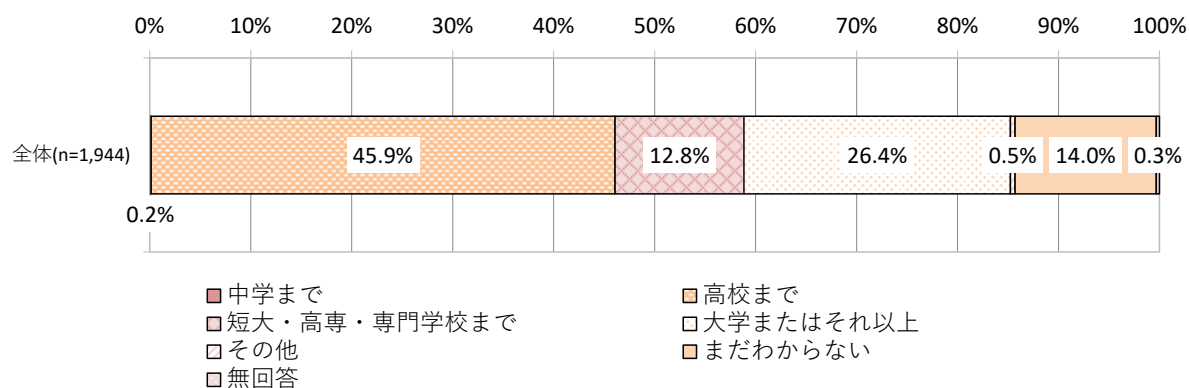
あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(SA)

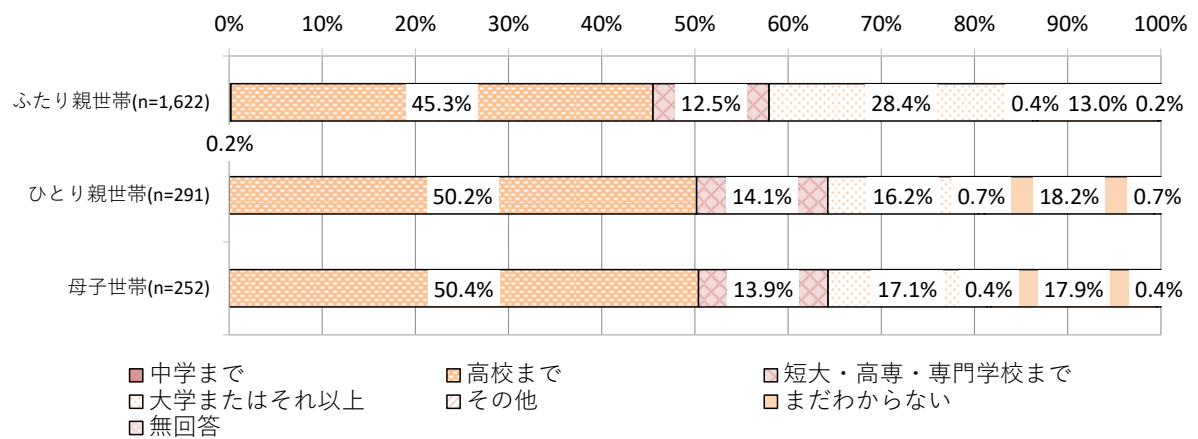
将来どの段階まで進学したいかについては、「高校まで」が45.9%、「大学またはそれ以上」が26.4%、「まだわからない」が14.0%、「短大・高専・専門学校まで」が12.8%、「その他」が0.5%、「中学まで」が0.2%、となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では32.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では22.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では12.4%となっている。

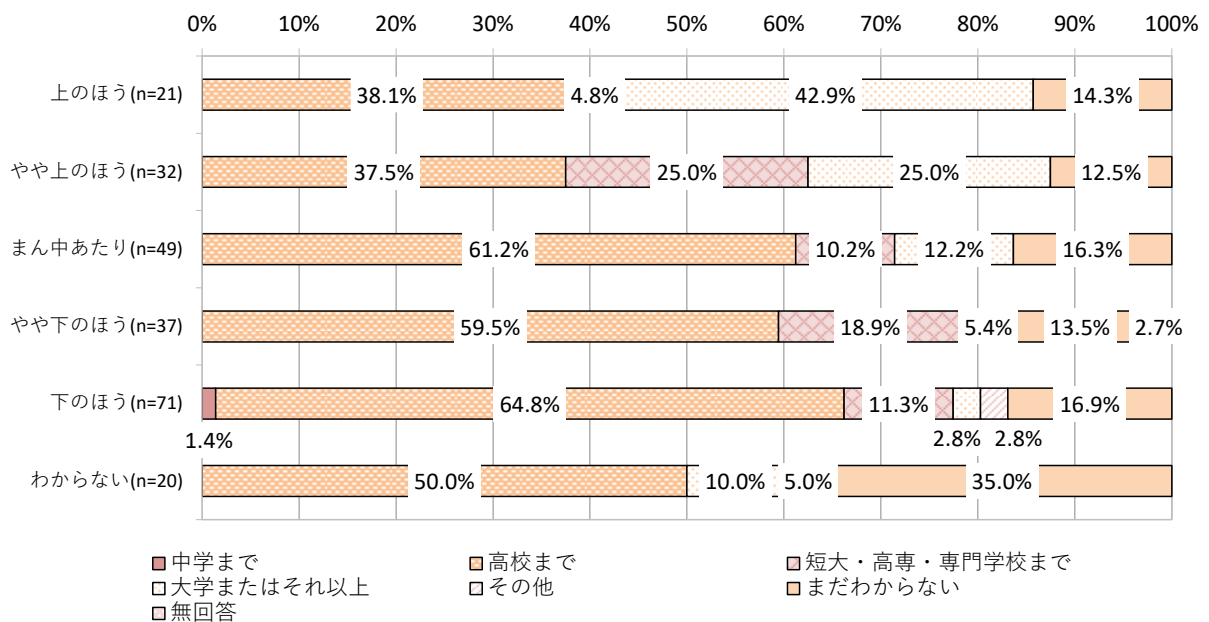
世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では28.4%、「ひとり親世帯」全体では16.2%、「母子世帯」のみでは17.1%となっている。

また、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の場合に、クラスの中での成績別にみると、収入の水準が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、進学したいと思う教育段階について「大学またはそれ以上」の割合が42.9%と比較的高くなっている。





※クラス中での成績別集計結果

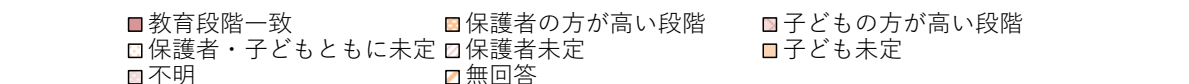
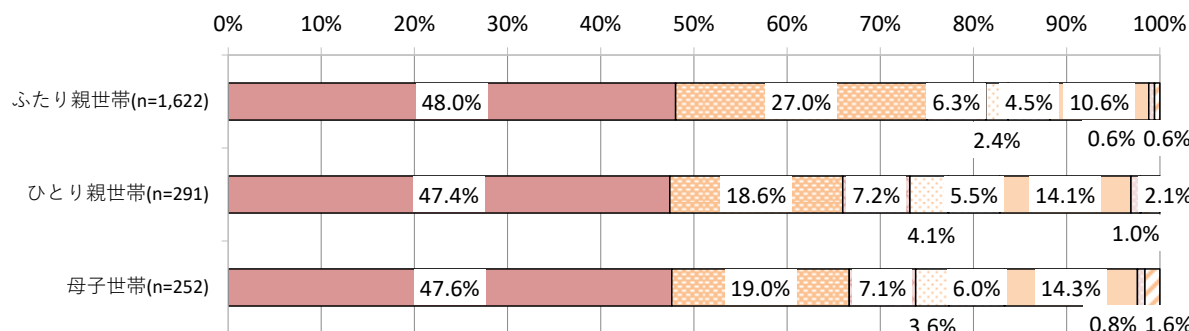
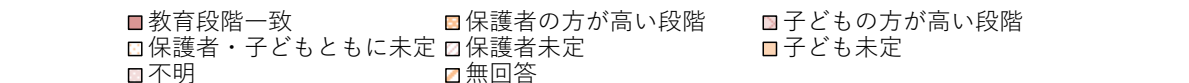
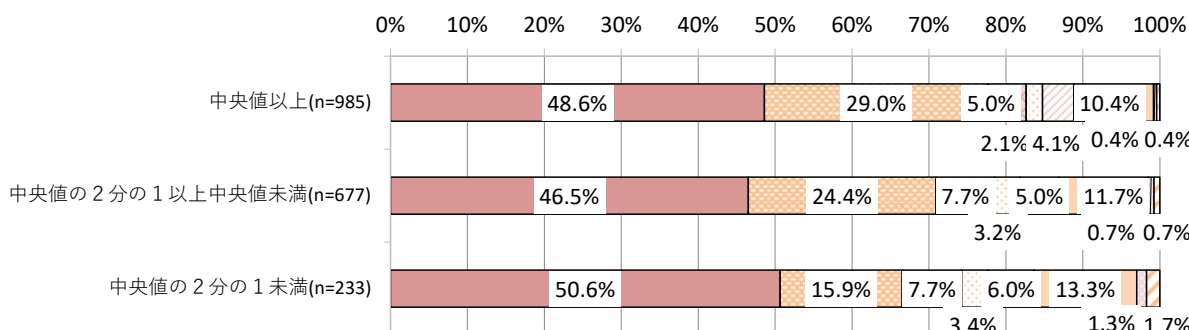
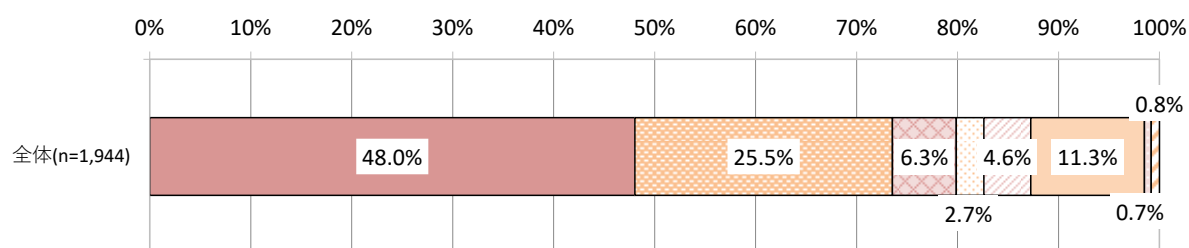


(2) 保護者と子どもの考えの一致・不一致の状況

保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望の回答と、子ども自身が進学したいと思う教育段階の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した。その結果、「教育段階一致」の割合は48.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」の割合は、「中央値以上」の世帯では48.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では46.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では50.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」の割合は、「ふたり親世帯」では48.0%、「ひとり親世帯」全体では47.4%、「母子世帯」のみでは47.6%となっている。



(3) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

中学生票問8

進学したいと思う教育段階の問で「まだわからない」以外を選んだ場合、その理由を答えてください。(MA)

進学希望の理由について、全体としては、「希望する学校や職業があるから」が 58.1%、「自分の成績から考えて」が 19.0%、「親がそう言っているから」が 16.5%となっている。

進学したいと思う教育段階別にみると、進学希望の教育段階が「高校まで」の場合には、「とくに理由はない」が 19.3%で、他の場合と比べて高くなっている。他方で、「希望する学校や職業があるから」の回答割合は低くなっている。

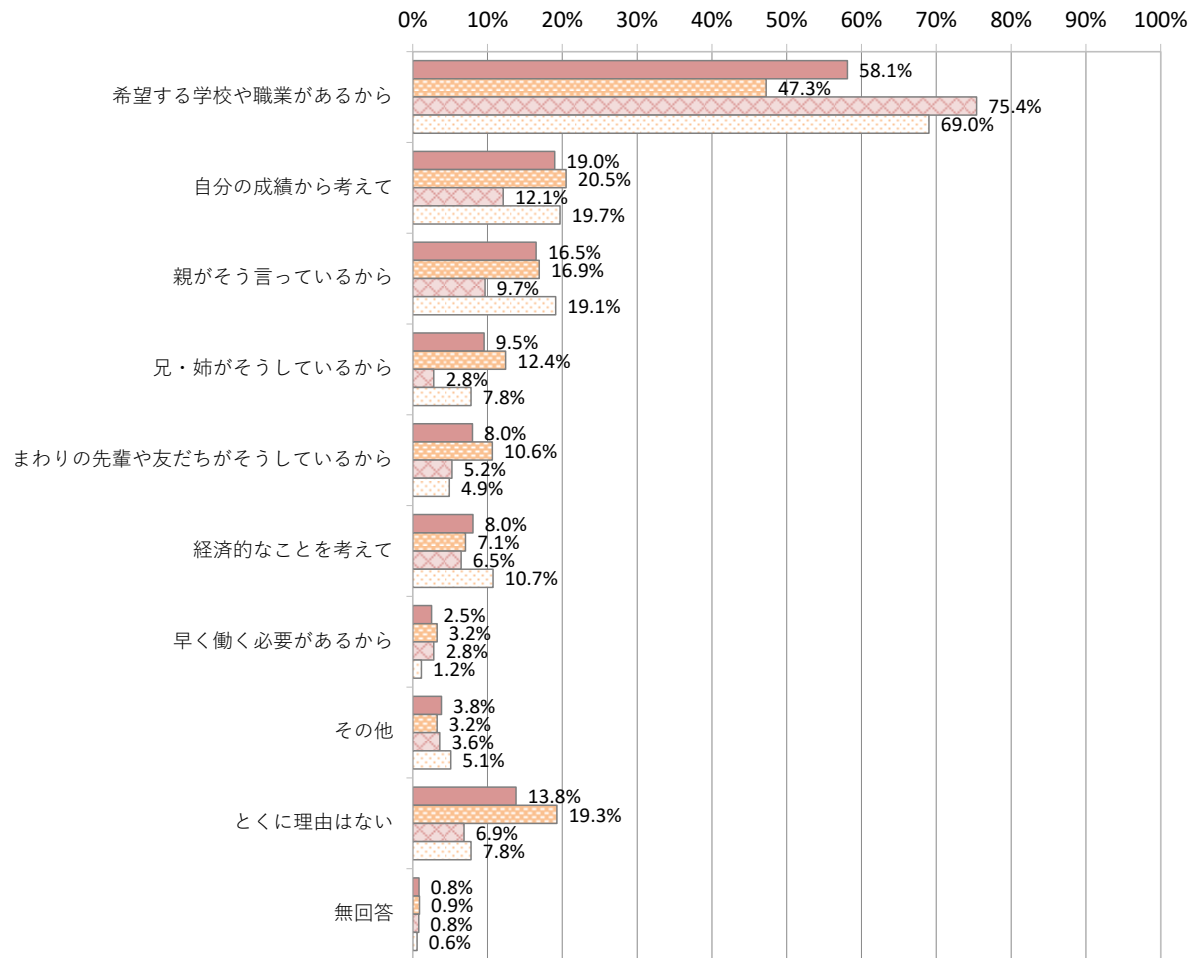
「短大・高専・専門学校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 90.0%、「経済的なことを考えて」の割合が 13.3%で、それぞれそれ以外の世帯と比べて高くなっている。他方で、「とくに理由はない」の回答割合は低くなっている。

「大学またはそれ以上」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の成績から考えて」の割合が 10.3%で、それ以外の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「高校まで」と回答した場合の理由について、「ひとり親世帯」では、「希望する学校や職業があるから」は 52.1%で「ふたり親世帯」と比べて高く、他方で、「自分の成績から考えて」が 16.4%と比較的低くなっている。

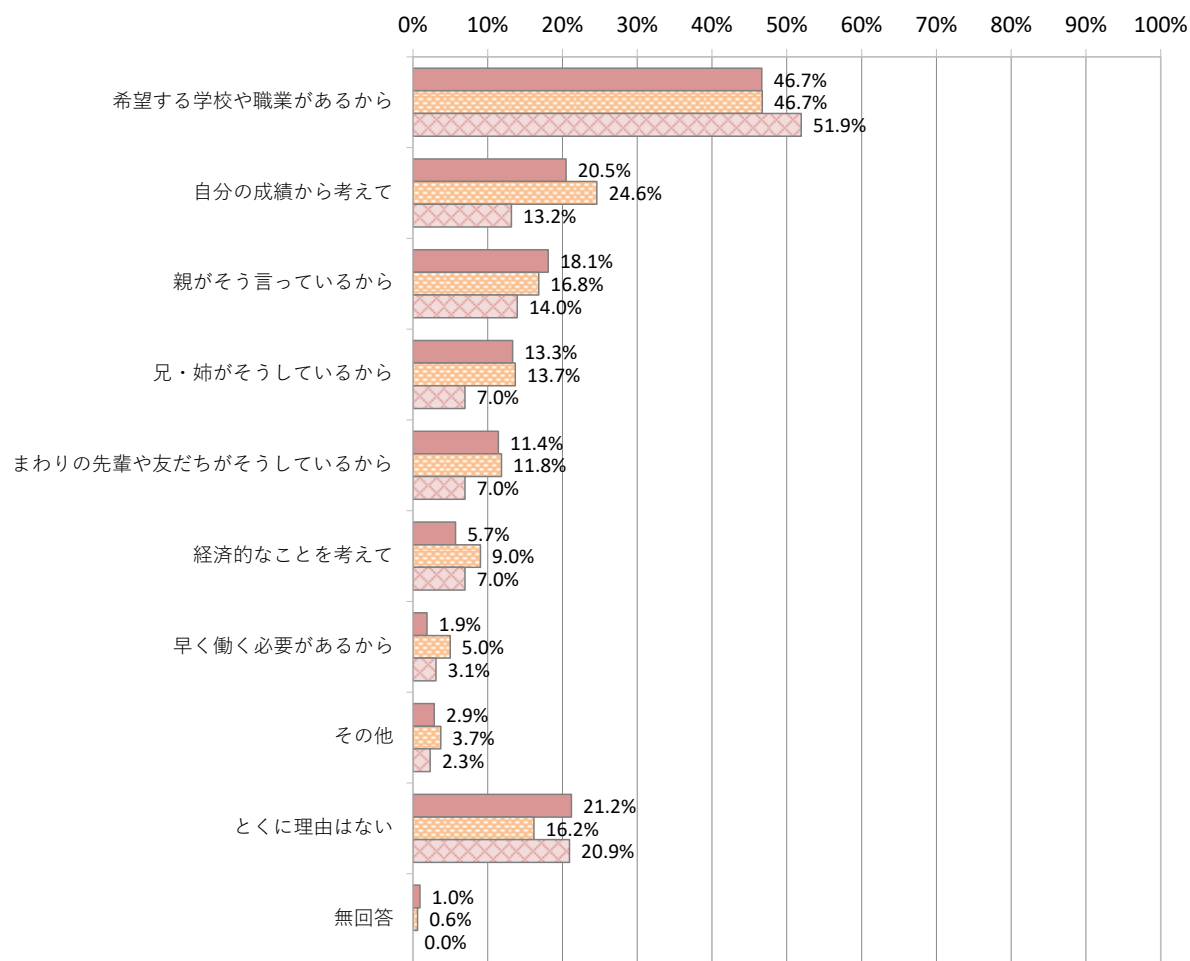
「短大・高専・専門学校まで」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「希望する学校や職業があるから」の割合が 80.5%、「自分の成績から考えて」の割合が 19.5%、「経済的なことを考えて」の割合が 12.2%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

「大学またはそれ以上」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「兄・姉がそうしているから」の割合が 2.1%で、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

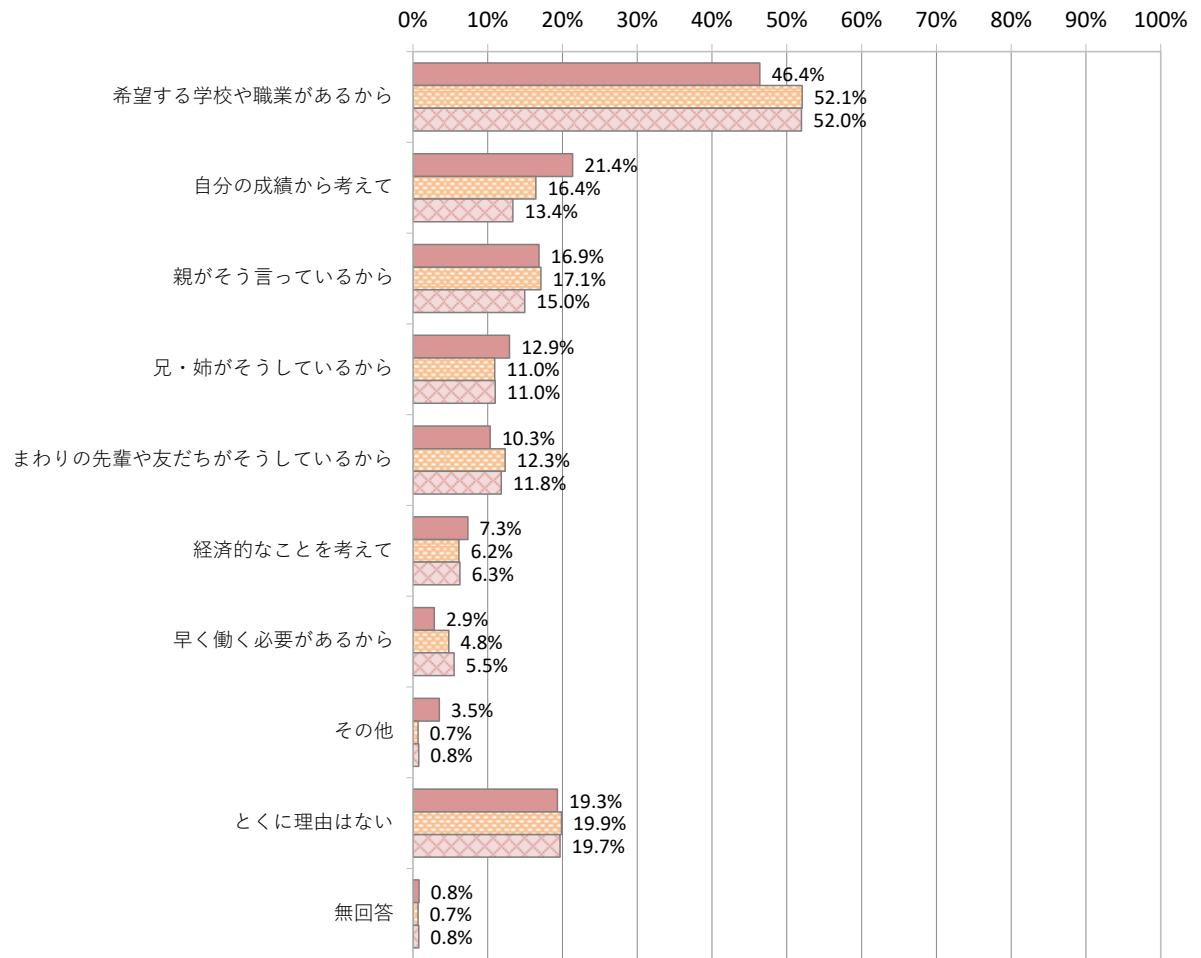


■全体(n=1,666) ■高校まで(n=893) ■短大・高専・専門学校まで(n=248) □大学またはそれ以上(n=513)

※「高校まで」と考える理由

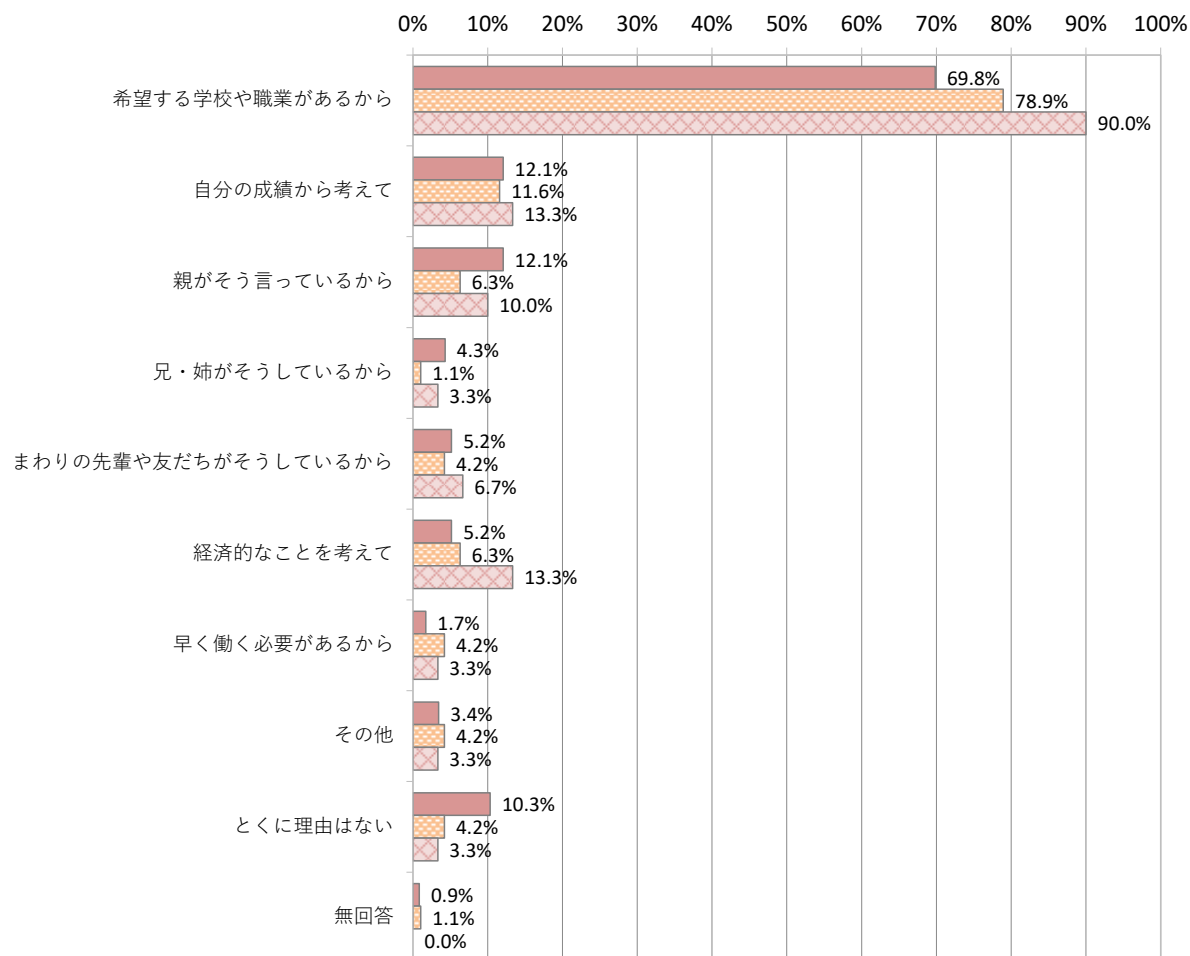


■ 中央値以上(n=420) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=321) ■ 中央値の2分の1未満(n=129)

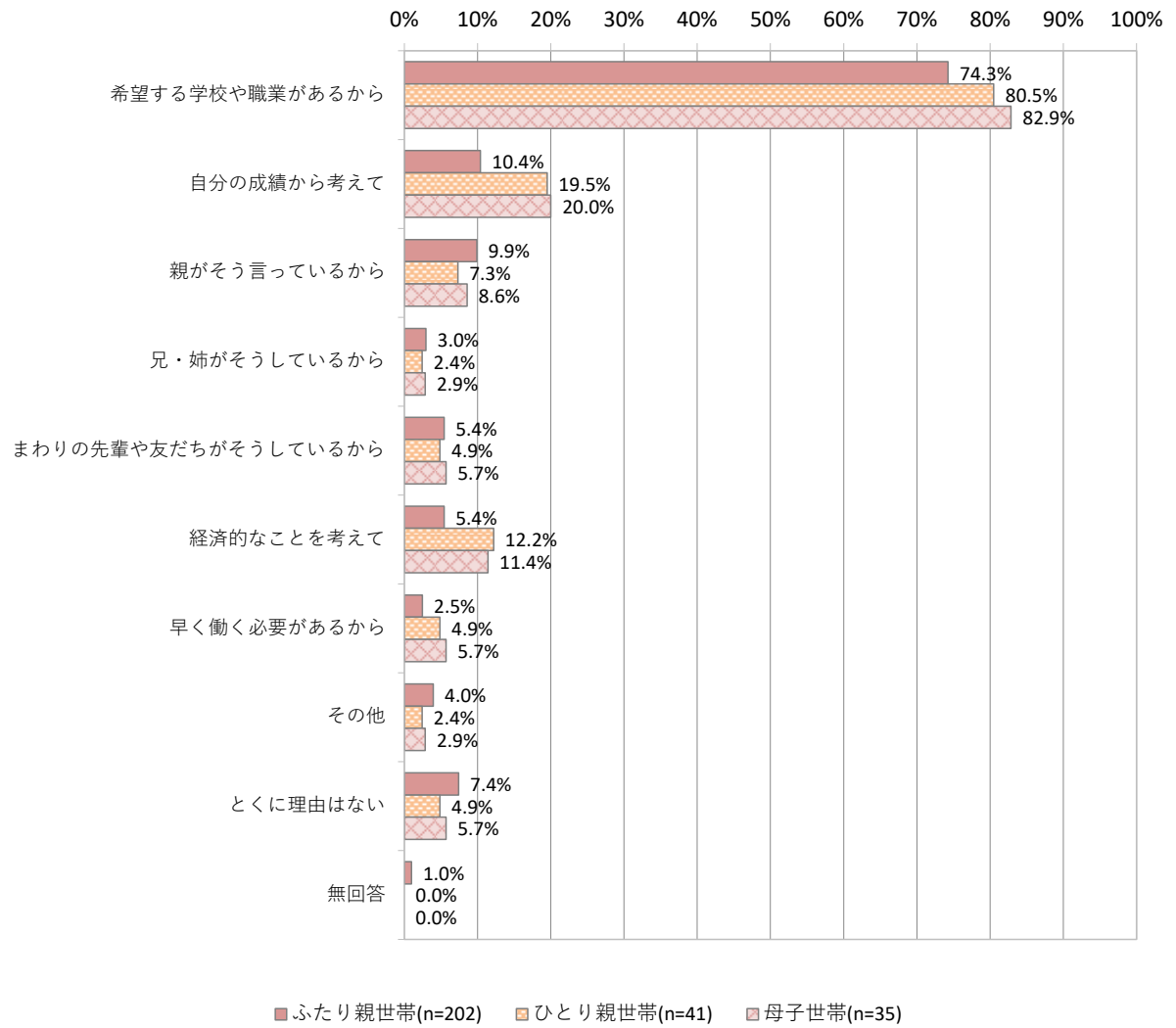


■ ふたり親世帯(n=735) ■ ひとり親世帯(n=146) ■ 母子世帯(n=127)

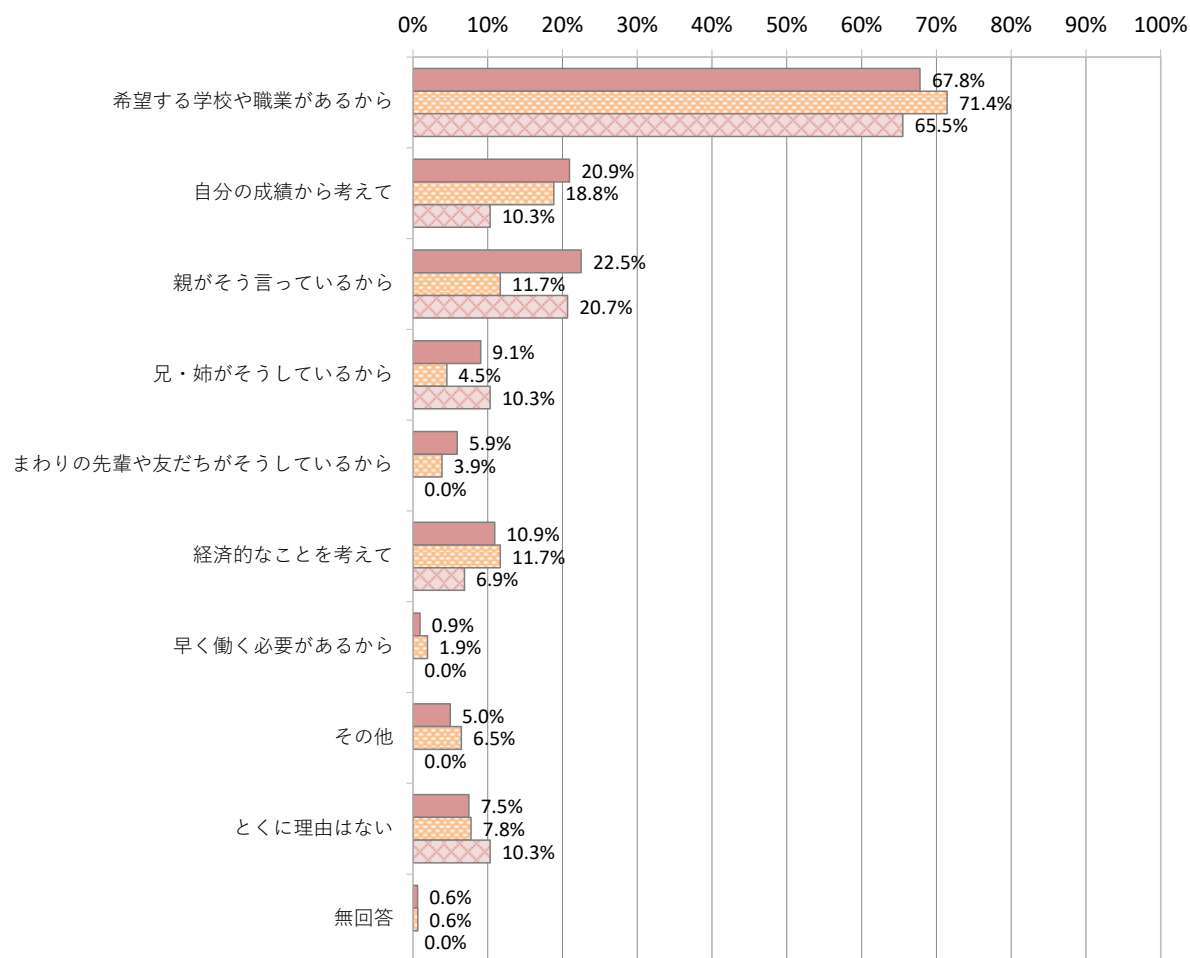
※「短大・高専・専門学校まで」と考える理由



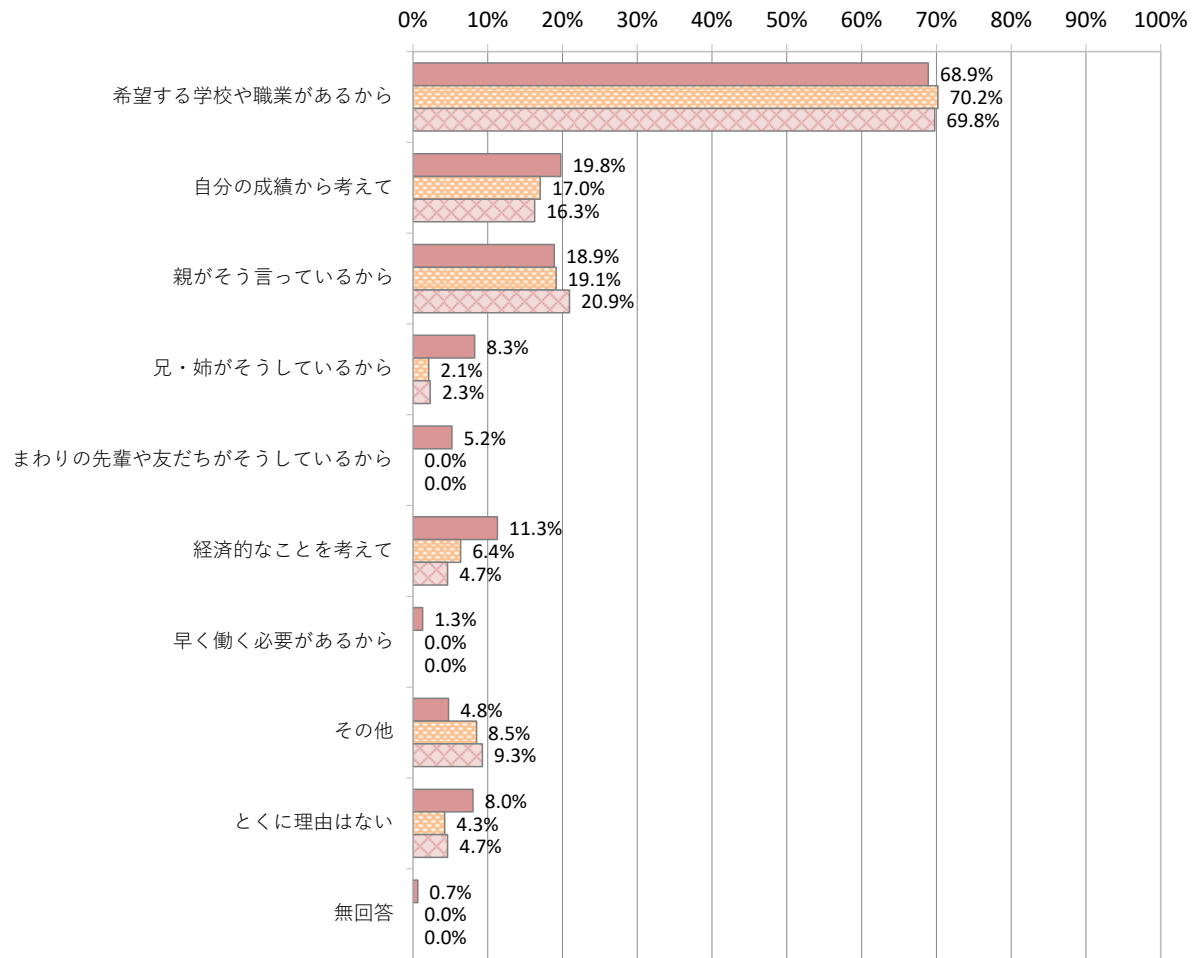
■ 中央値以上(n=116) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=95) ■ 中央値の2分の1未満(n=30)



※「大学またはそれ以上」と考える理由



■ 中央値以上(n=320) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=154) ■ 中央値の2分の1未満(n=29)



■ ふたり親世帯(n=460) ■ ひとり親世帯(n=47) ■ 母子世帯(n=43)

2.2.3. 部活動等への参加状況

(1) 部活動等への参加状況

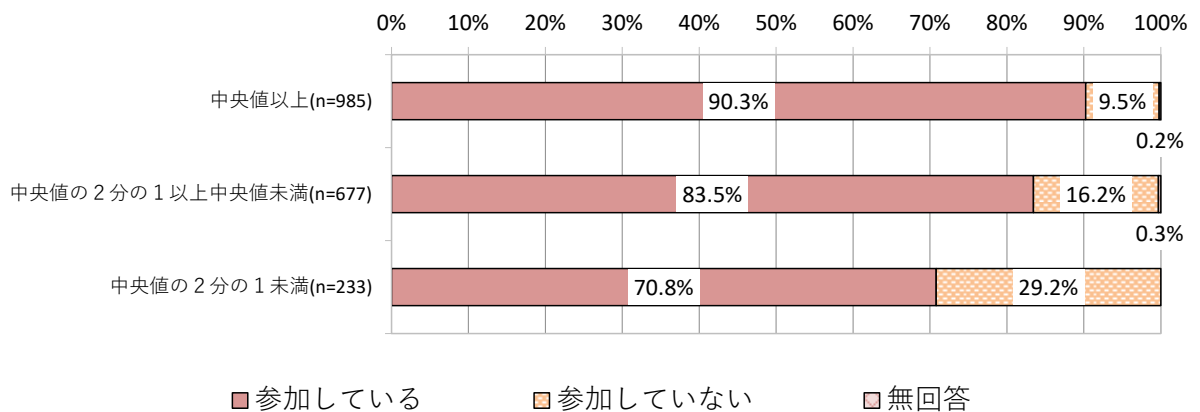
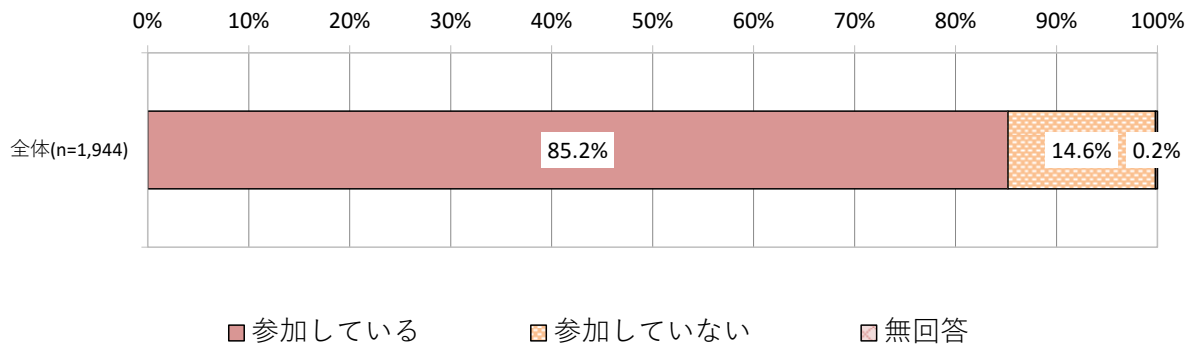
中学生票問9

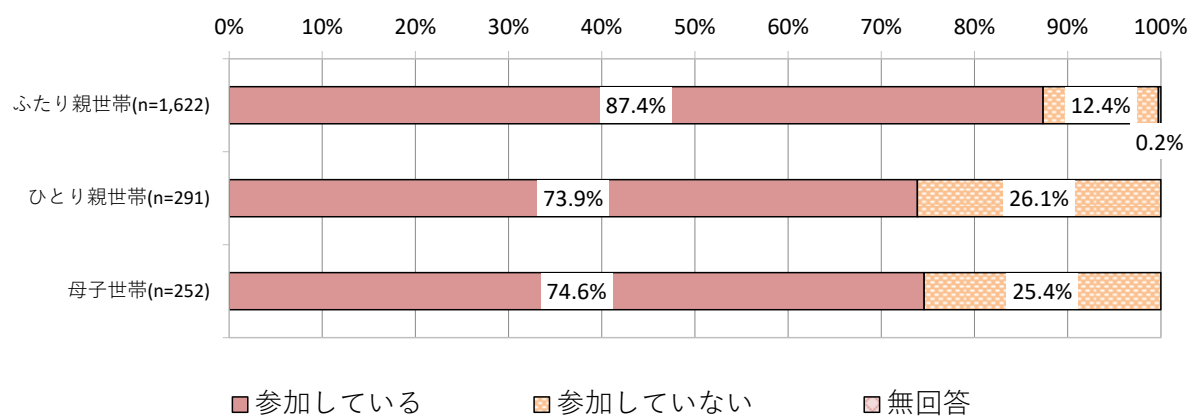
あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(SA)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況については、「参加している」が85.2%、「参加していない」が14.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では9.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では16.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では12.4%、「ひとり親世帯」全体では26.1%、「母子世帯」のみでは25.4%となっている。





(2) 部活動等に参加していない理由

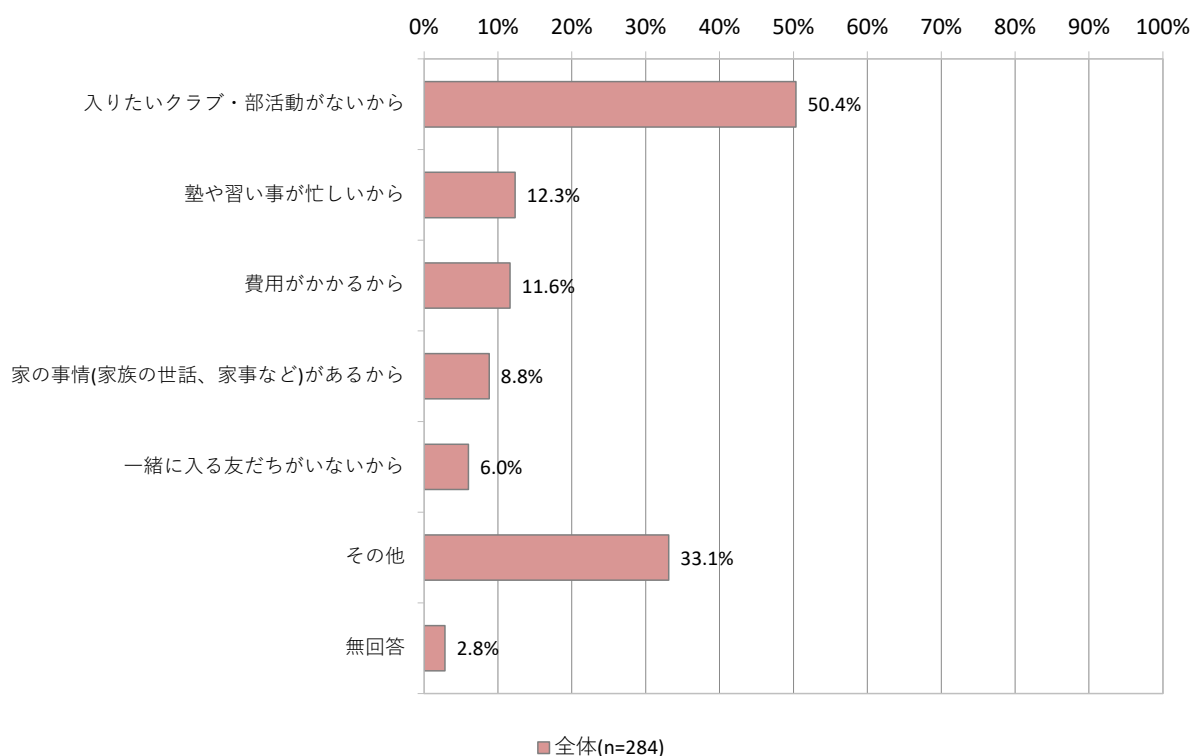
中学生票問 10

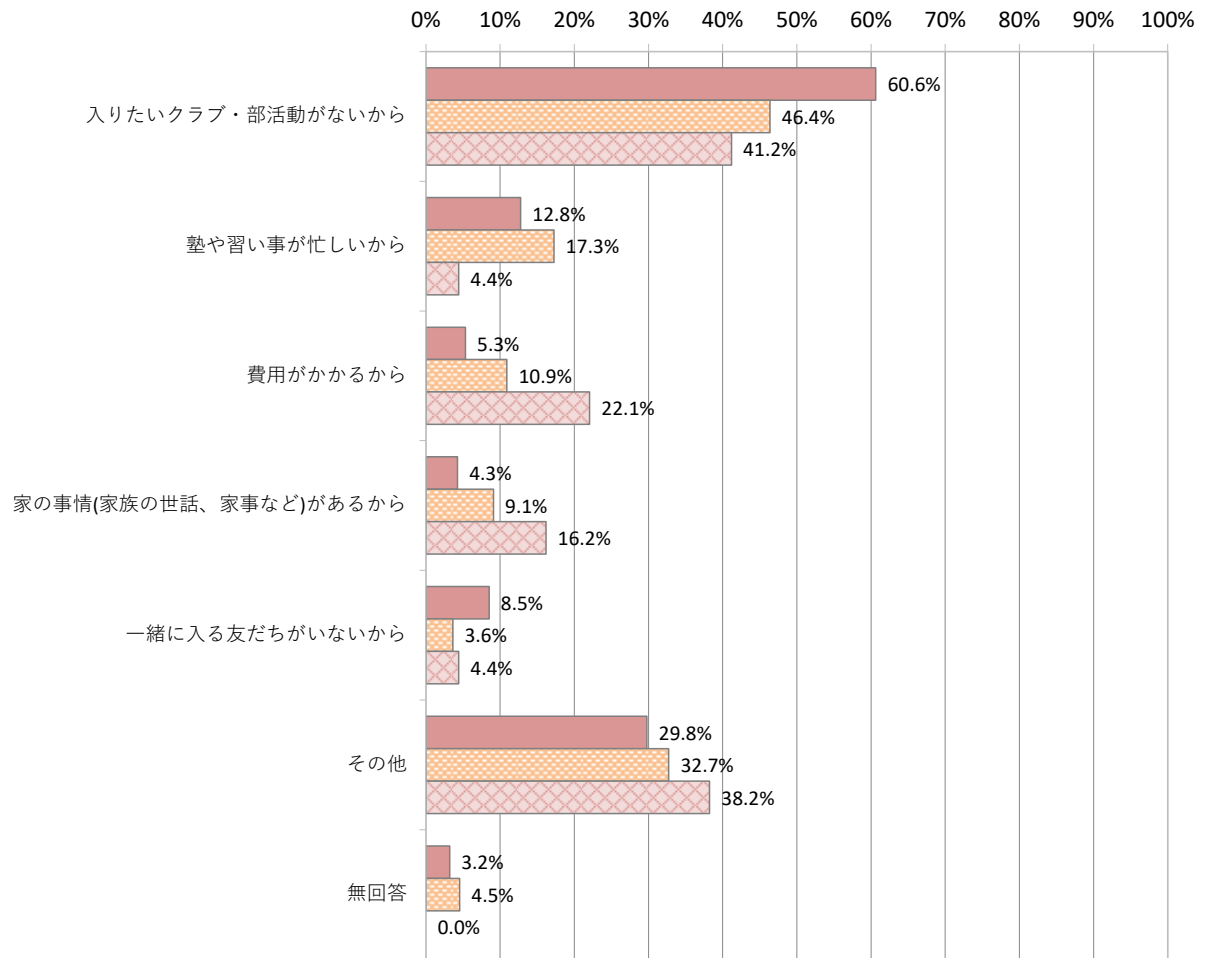
部活動等への参加状況の問で「参加していない」と答えた場合、参加していない理由は何ですか。(MA)

部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 50.4%、「その他」が 33.1%となっている。

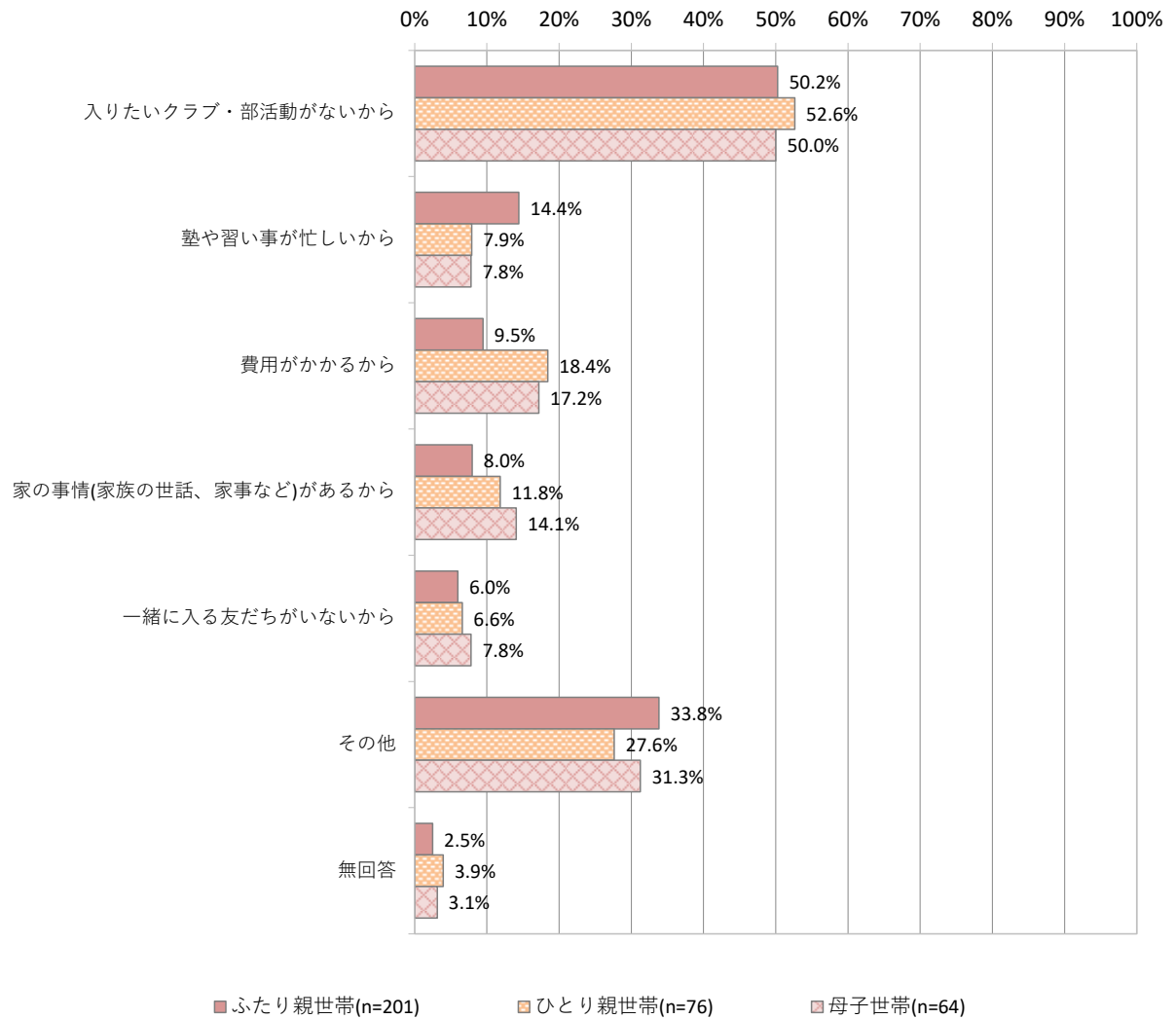
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「費用がかかるから」が 22.1%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が 16.2%で、他の世帯と比べて高くなっている。他方で、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 41.2%、「塾や習い事が忙しいから」は 4.4%で、それぞれ他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「費用がかかるから」が 18.4%で「ふたり親世帯」と比べて高く、「塾や習い事が忙しいから」は 7.9%で低くなっている。





■ 中央値以上(n=94) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=110) ■ 中央値の2分の1未満(n=68)



2.2.4. 日常的な生活の状況

(1) 食事の状況

中学生票問 11

あなたは、週にどのくらい、食事をしていますか。(SA)

- a. 朝食
- b. 夕食
- c. 夏休みや冬休みなどの期間の昼食
- d. 土・日曜日・祝日の昼食

食事の状況について、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が83.1%、「週5～6日」が9.4%、「週3～4日」が3.0%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.3%となっている。

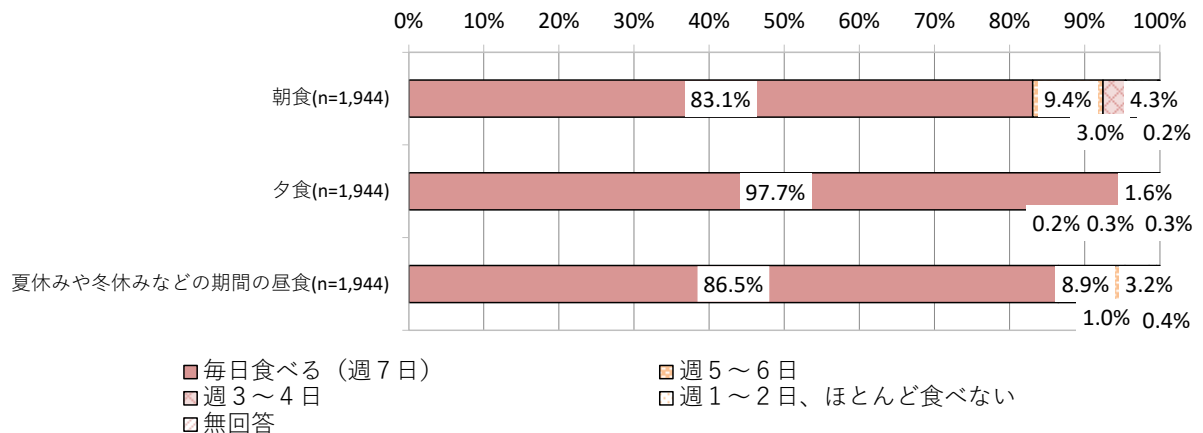
「夕食」については、「毎日食べる（週7日）」が97.7%、「週5～6日」が1.6%、「週3～4日」が0.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.3%となっている。

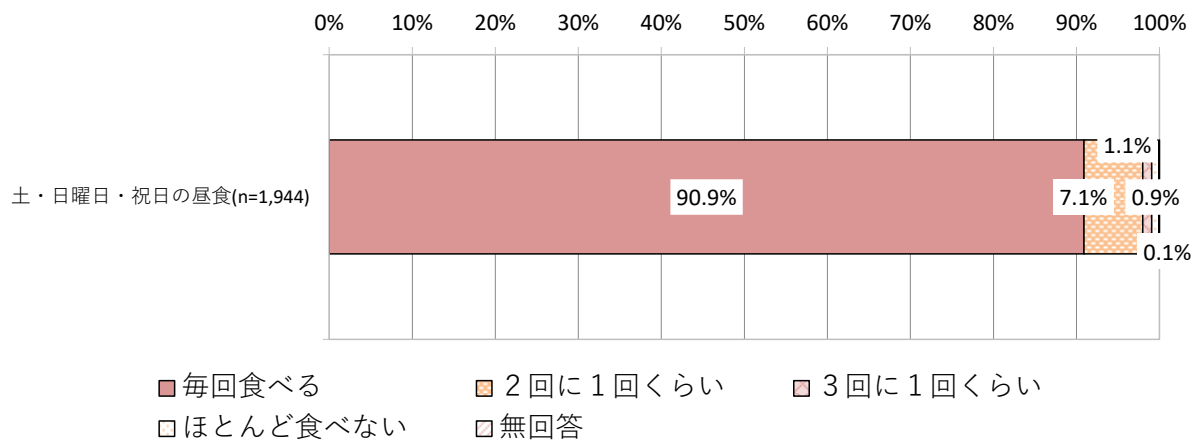
「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が86.5%、「週5～6日」が8.9%、「週3～4日」が3.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が1.0%となっている。

「土・日曜日・祝日の昼食」については、「毎回食べる」が90.9%、「2回に1回くらい」が7.1%、「3回に1回くらい」が1.1%、「ほとんど食べない」が0.9%となっている。

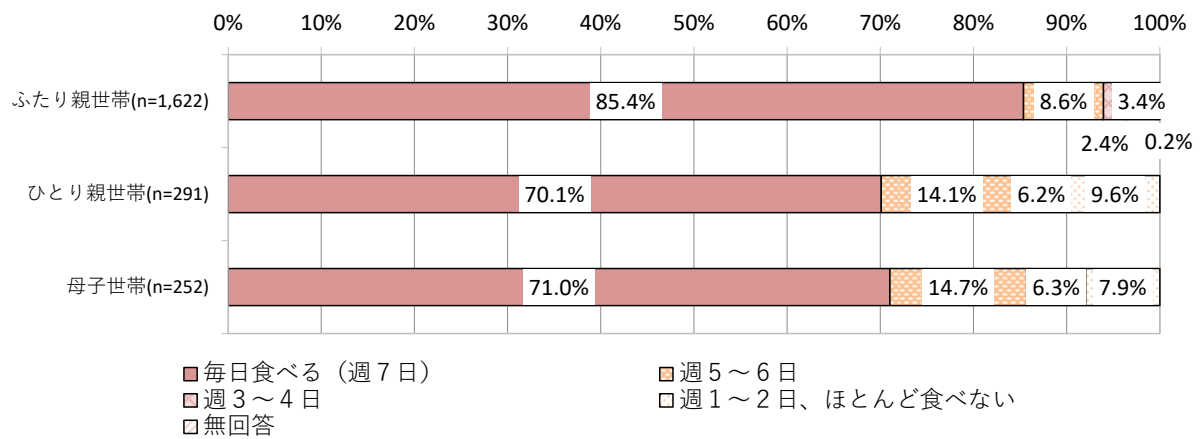
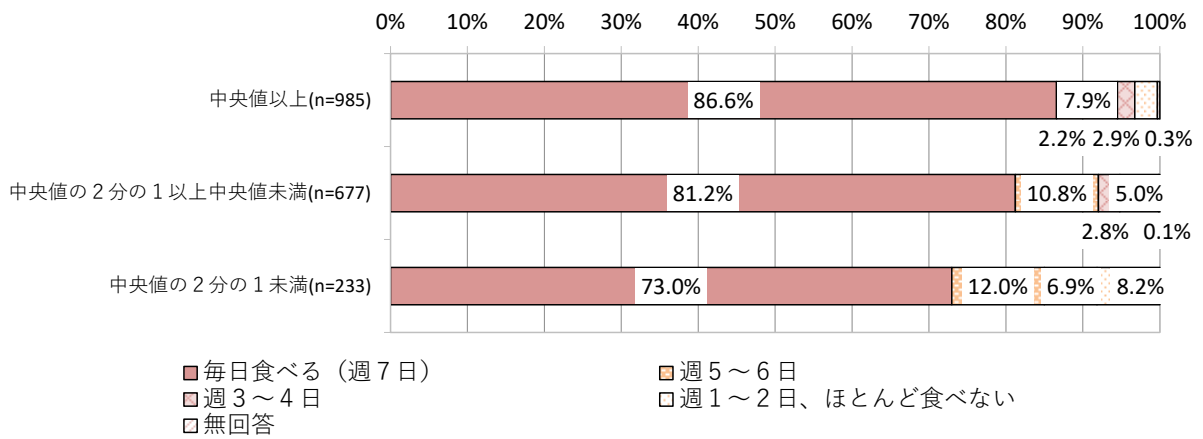
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「毎日食べる（週7日）」「毎回食べる」の割合が、「朝食」について73.0%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について79.0%、「土・日曜日・祝日の昼食」について85.8%と、他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「毎日食べる（週7日）」「毎回食べる」の割合が、「朝食」について70.1%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について77.7%、「土・日曜日・祝日の昼食」について83.2%と、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

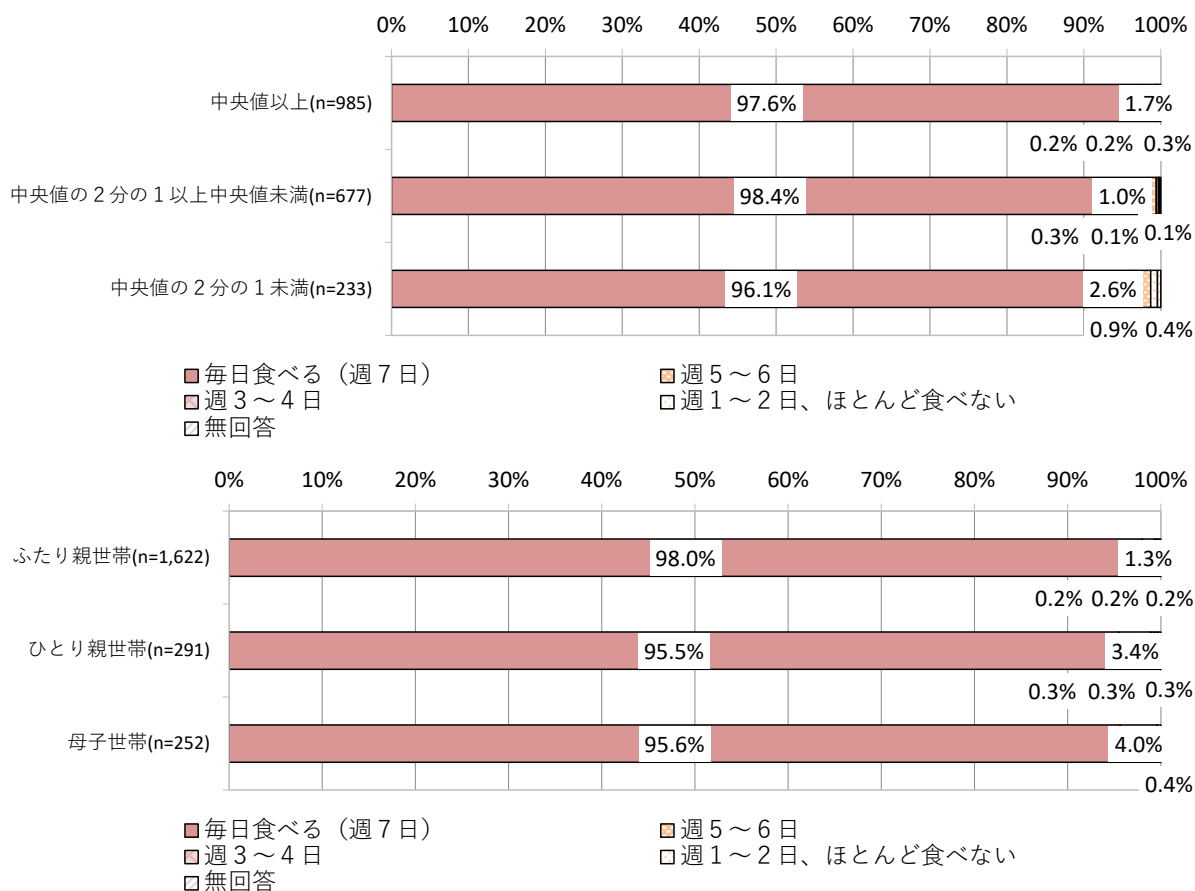




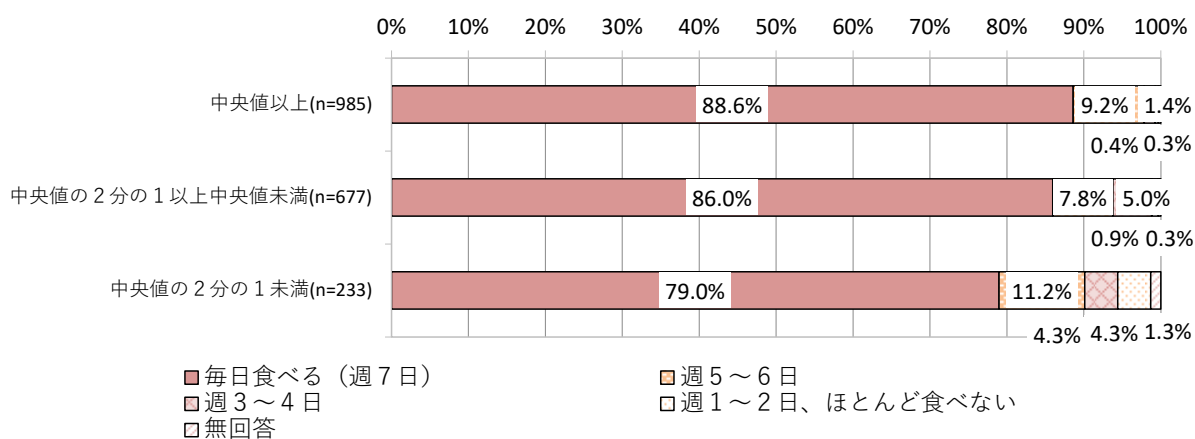
※朝食

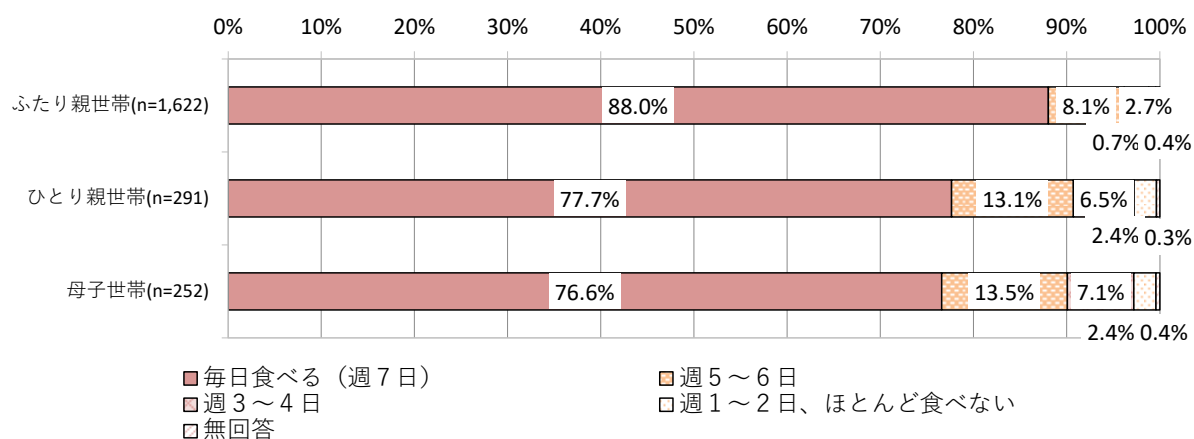


※夕食

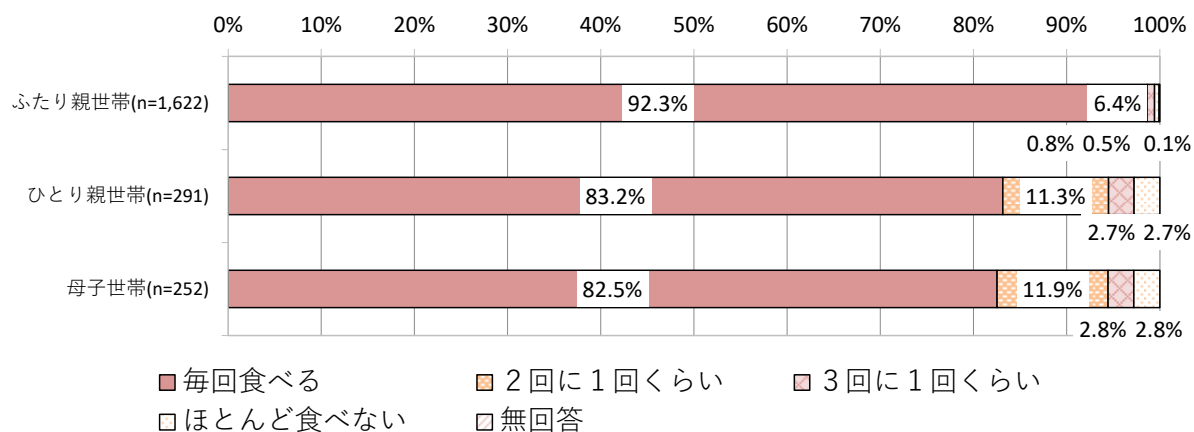
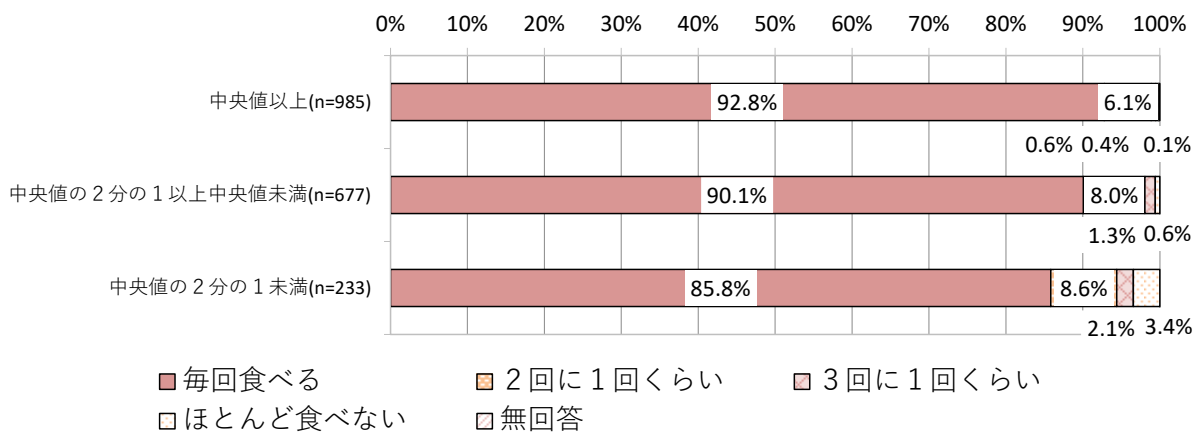


※夏休みや冬休みなどの期間の昼食





※土・日曜日・祝日の昼食



(2) 共食の状況

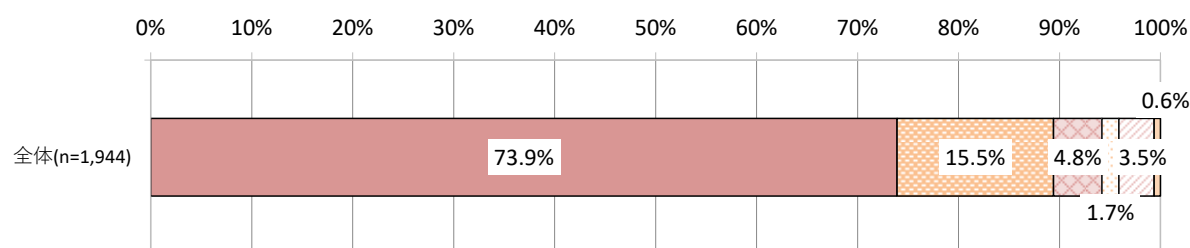
中学生票問 11-2

あなたは主に誰と食事をしていますか。(SA)

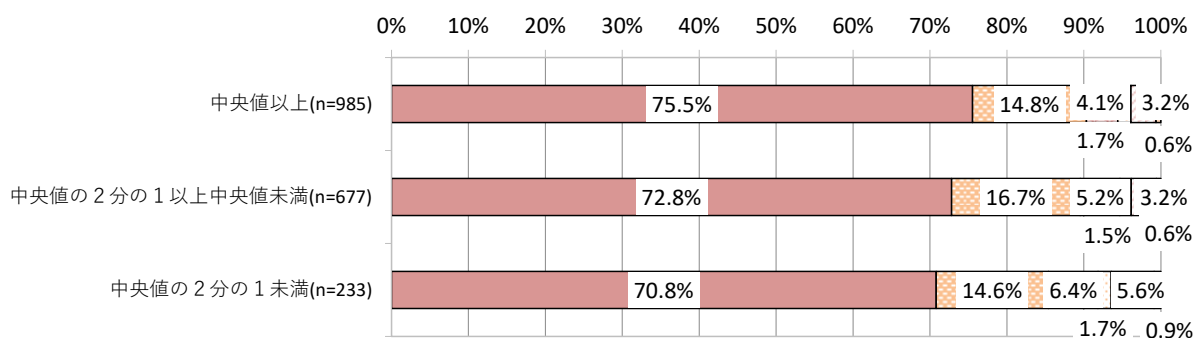
主に誰と食事をしているかについて、「家族全員」が73.9%、「親」が15.5%、「きょうだい」が4.8%、「その他」が1.7%、「1人で食事をしている」が3.5%となっている。「家族全員」と「親」を合わせた割合は89.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「家族全員」と「親」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では90.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では89.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では85.4%となっている。

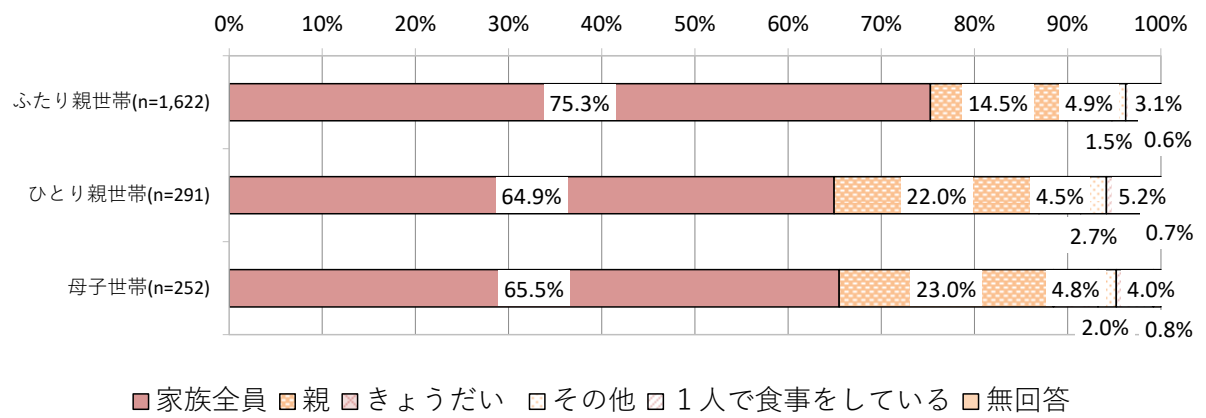
世帯の状況別にみると、「家族全員」と「親」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では89.8%、「ひとり親世帯」全体では86.9%、「母子世帯」のみでは88.5%となっている。



■ 家族全員 ■ 親 ■ きょうだい □ その他 □ 1人で食事をしている ■ 無回答



■ 家族全員 ■ 親 ■ きょうだい □ その他 □ 1人で食事をしている ■ 無回答



(3) 就寝時間

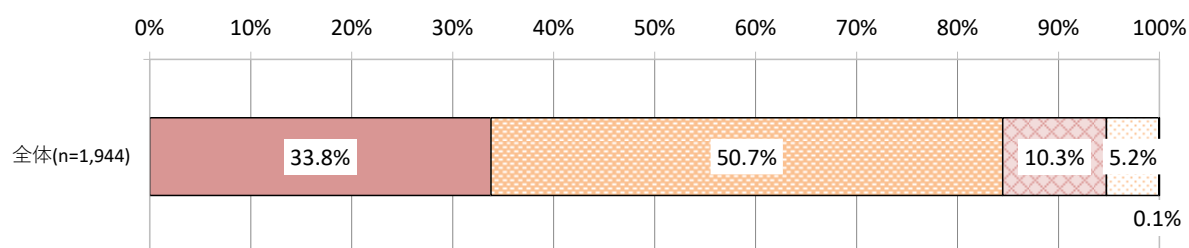
中学生票問 12

あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(SA)

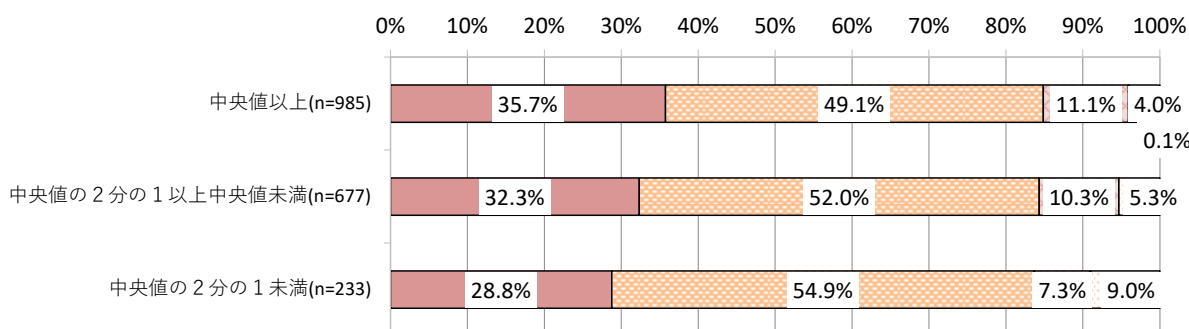
就寝時間に関して、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」が 33.8%、「どちらかといえばそうである」が 50.7%、「どちらかといえばそうではない」が 10.3%、「そうではない」が 5.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「そうである」の割合が 28.8%と他の世帯と比べて低くなっている。

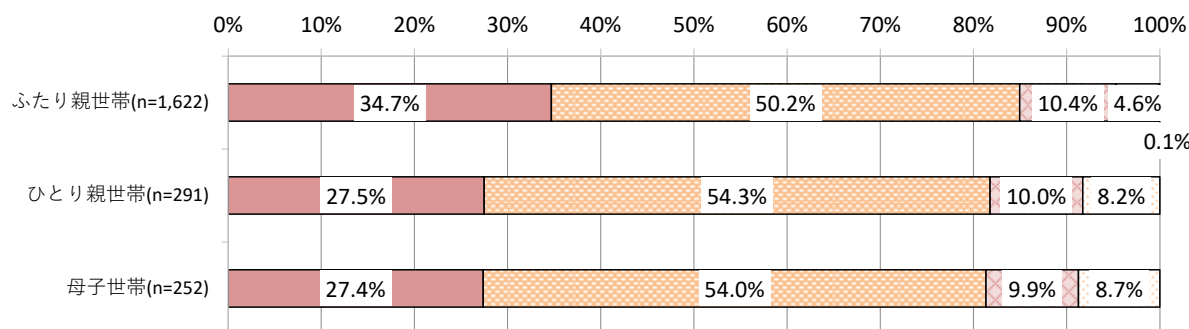
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「そうである」の割合が 27.5%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答



■ そうである
 ■ どちらかといえばそうである
 ■ どちらかといえばそうではない
 □ そうではない
 □ 無回答

(4) 相談できると思う相手

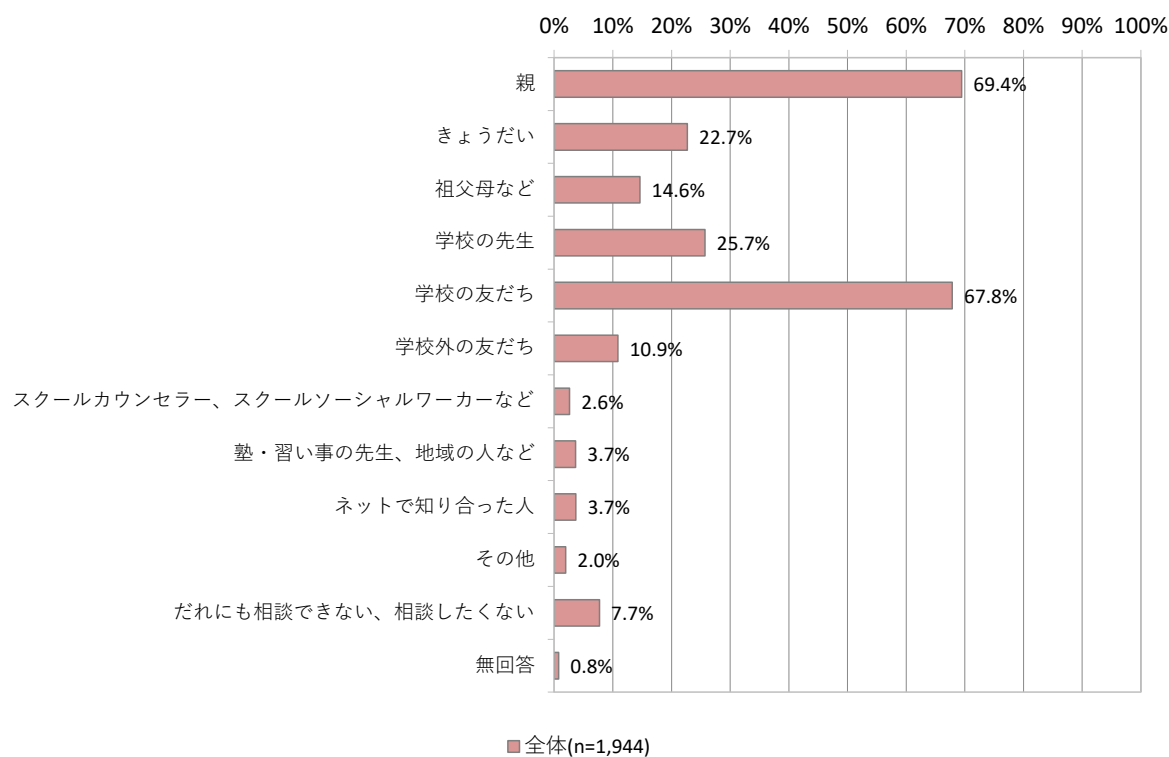
中学生票問 13

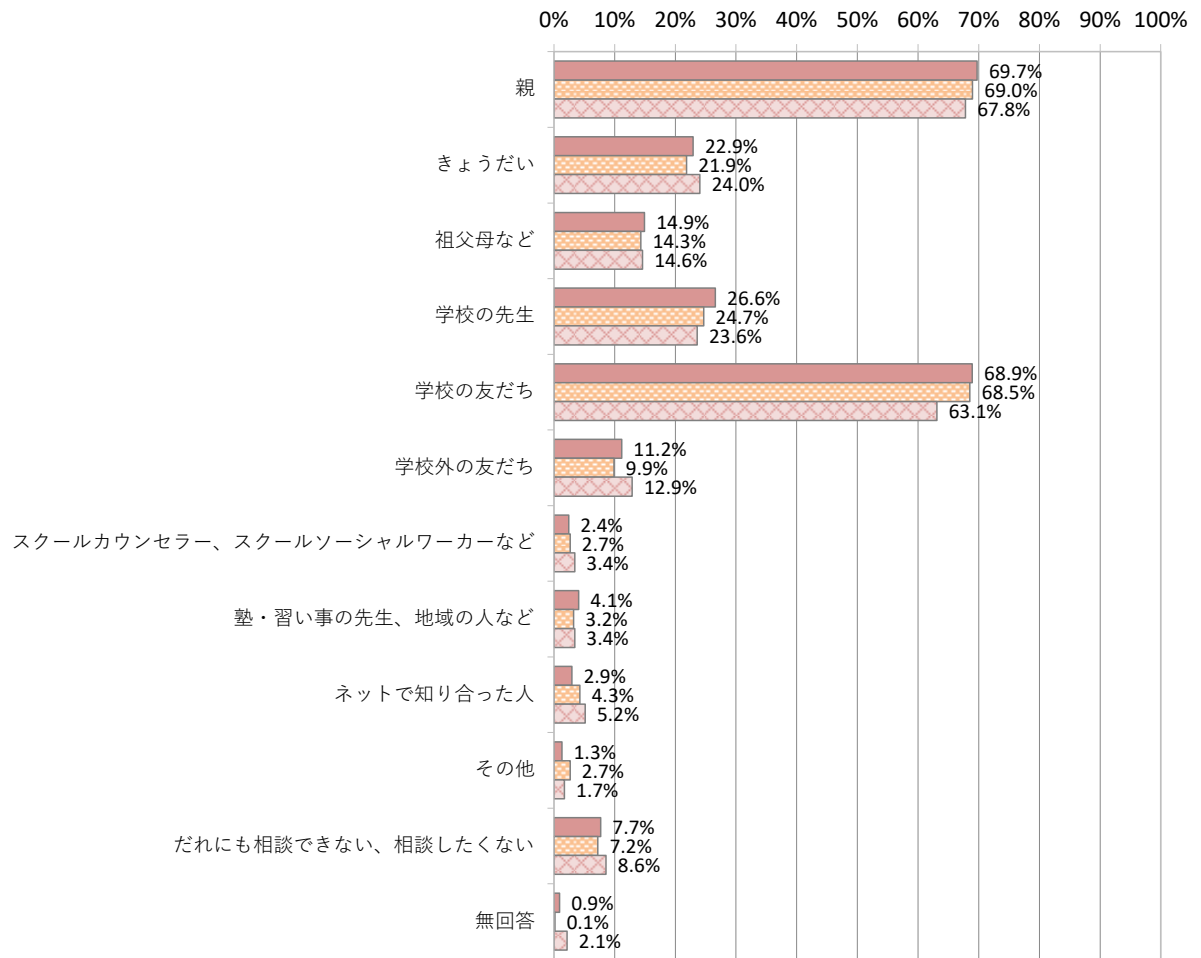
あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(MA)

困っていることや悩みごとがあるとき相談できると思う人については、「親」が 69.4%、「学校の友だち」が 67.8%、「学校の先生」が 25.7%となっている。

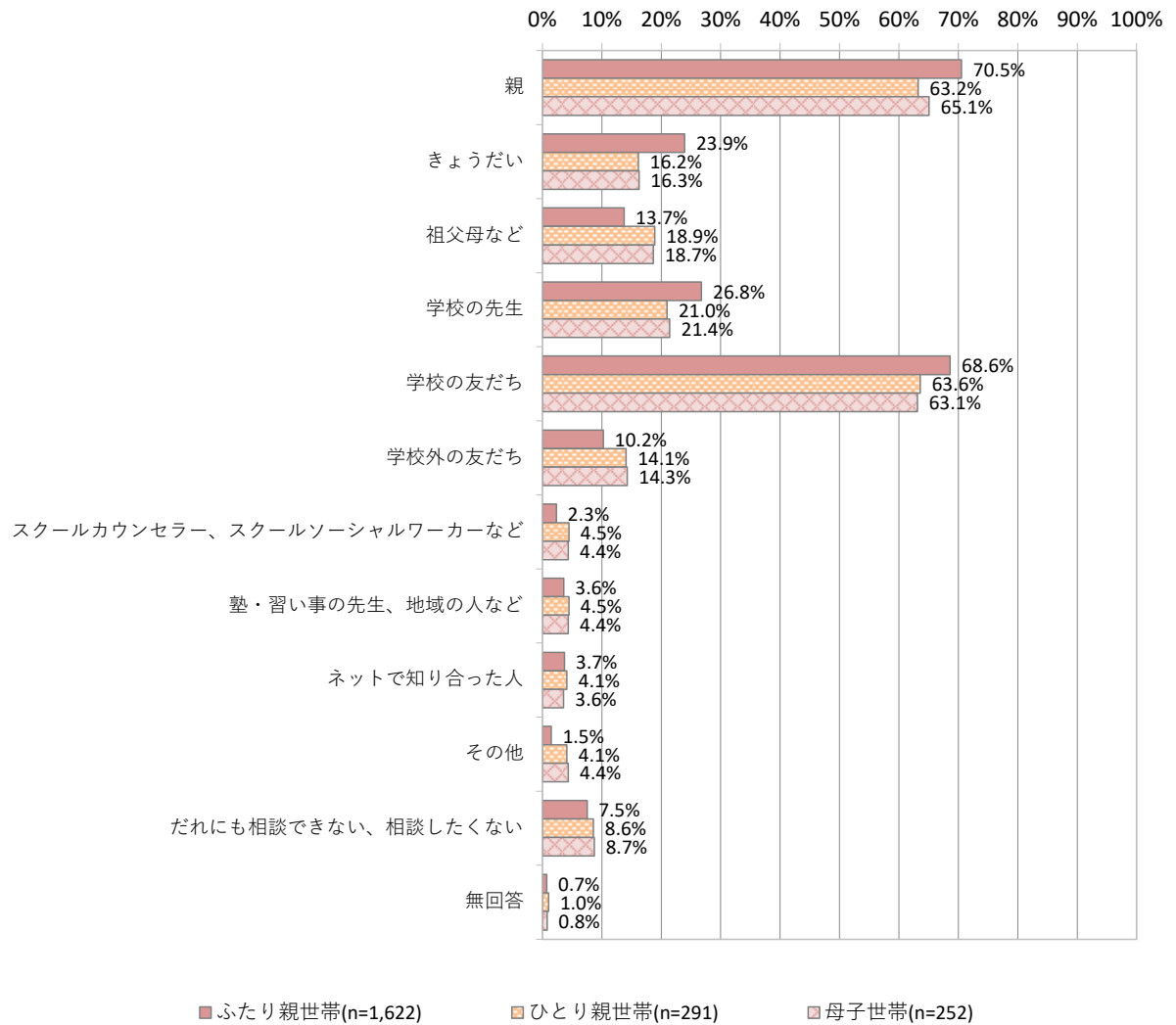
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「学校の友だち」が 63.1%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「親」が 63.2%、「きょうだい」が 16.2%、「学校の先生」が 21.0%、「学校の友だち」が 63.6%で、それぞれ「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。





■ 中央値以上(n=985) ■ 中央値の2分の1以上中央値未満(n=677) ■ 中央値の2分の1未満(n=233)



(5) 生活満足度

中学生票問 14

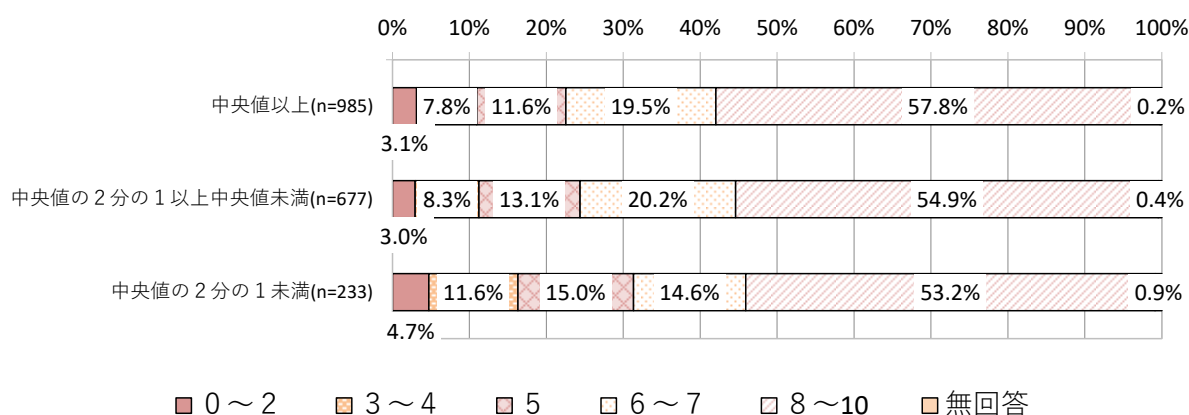
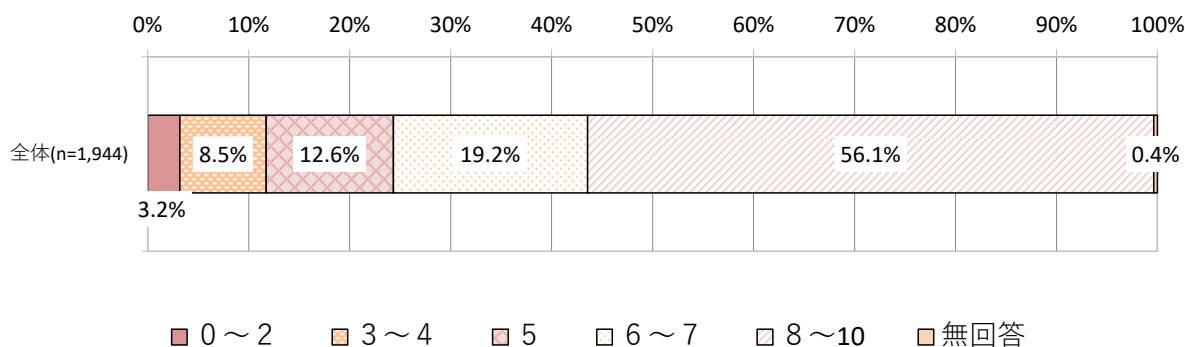
全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（SA）

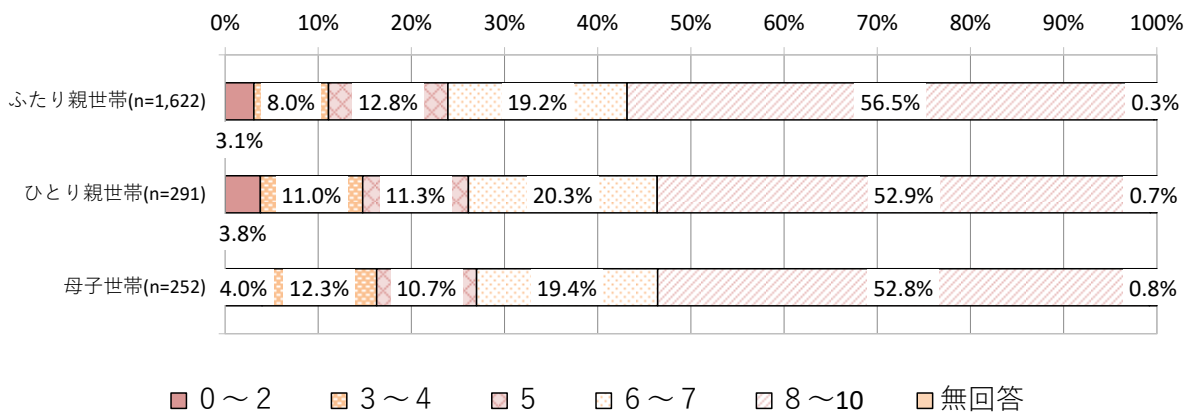
最近の生活の満足度については、「0～2」に該当する割合が3.2%、「3～4」に該当する割合が8.5%、「5」に該当する割合が12.6%、「6～7」に該当する割合が19.2%、「8～10」に該当する割合が56.1%となっている。

満足度が高い方の回答（6～10）割合は75.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は67.8%で、「中央値以上」の世帯と比べて生活満足度が低くなっている。

世帯の状況別についてみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は73.2%で、「ふたり親世帯」と比べて生活満足度が低くなっている。





(6) 自分で自由に使えるお金の有無

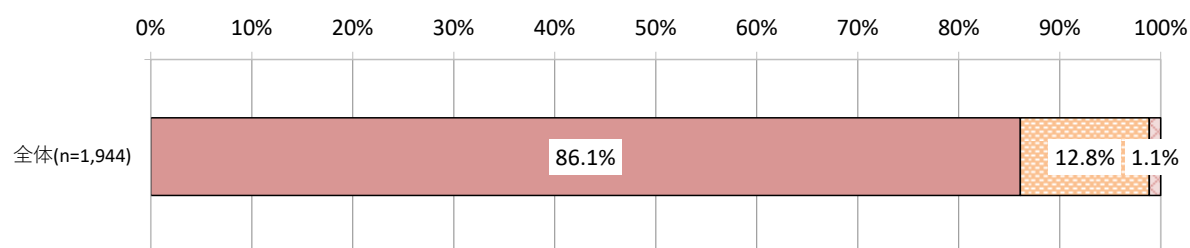
中学生票問 20

あなたは、自分で自由に使えるお金（お小遣い）がありますか。（SA）

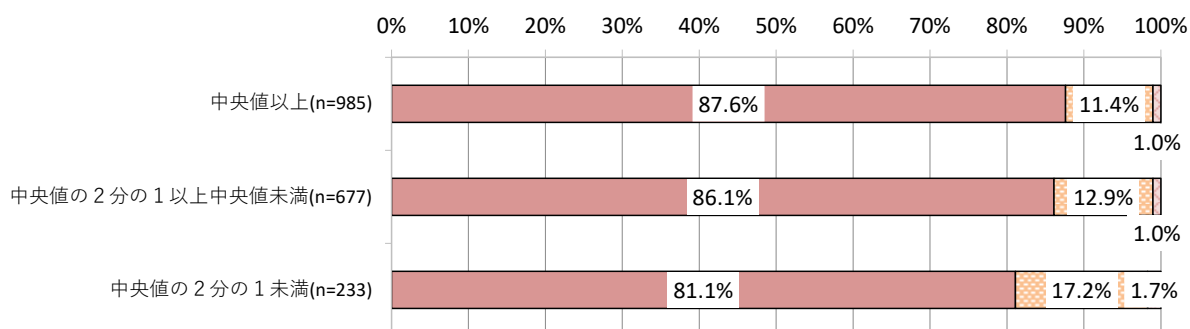
自分で自由に使えるお金の有無については、「ある」が 86.1%、「ない」が 12.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「ある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 87.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 86.1%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 81.1%となっている。

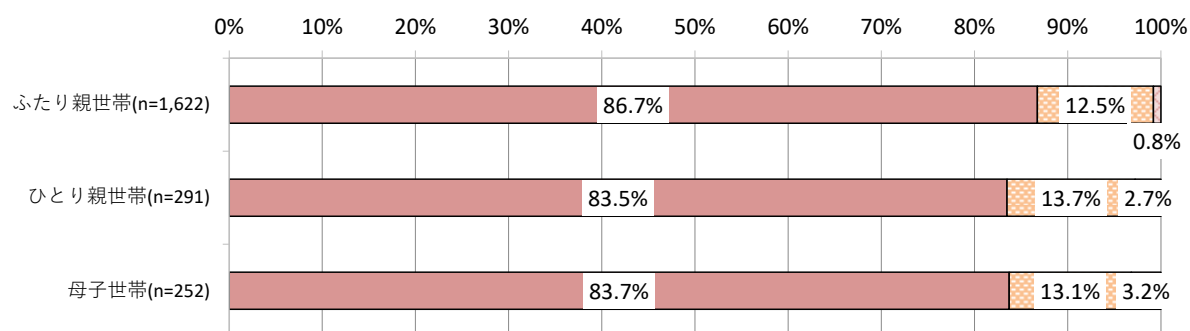
世帯の状況別にみると、「ある」の割合は、「ふたり親世帯」では 86.7%、「ひとり親世帯」全体では 83.5%、「母子世帯」のみでは 83.7%となっている。



■ ある ■ ない ■ 無回答



■ ある ■ ない ■ 無回答



■ ある ■ ない ■ 無回答

(7) 自分で自由に使えるお金の金額

中学生票問 21

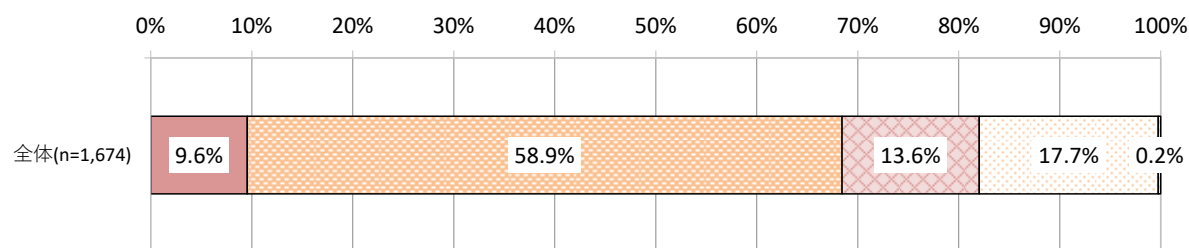
自分で自由に使えるお金の有無の間で、「ある」と答えた方にお聞きします。その金額はどのくらいですか。(SA)

自分で自由に使えるお金の金額の有無について「ある」と回答した方に関し、その金額を尋ねた。

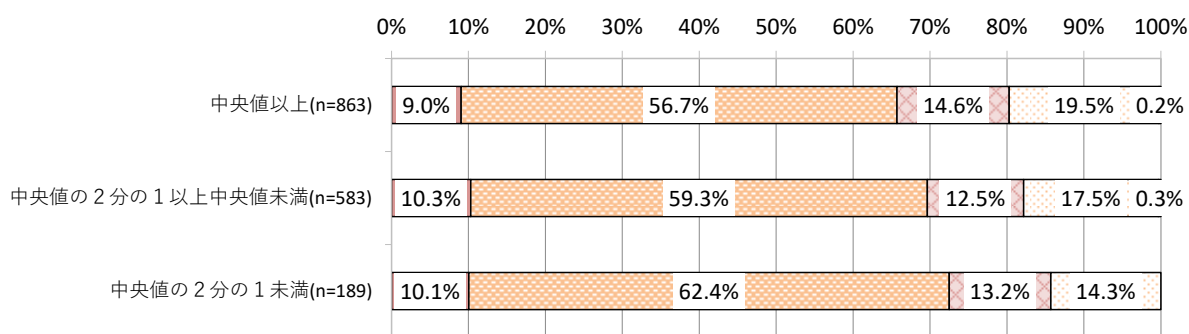
自分で自由に使えるお金の金額については、「1,000円未満」が9.6%、「1,000円～5,000円未満」が58.9%、「5,000円～10,000円未満」が13.6%、「10,000円以上」が17.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「10,000円以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では19.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では17.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では14.3%となっている。

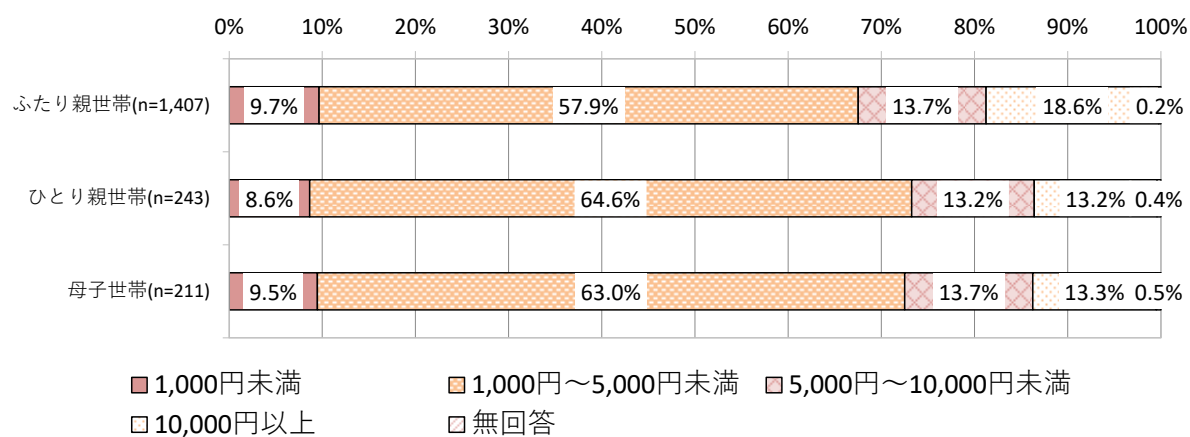
世帯の状況別にみると、「10,000円以上」の割合は、「ふたり親世帯」では18.6%、「ひとり親世帯」全体では13.2%、「母子世帯」のみでは13.3%となっている。



■ 1,000円未満 ■ 1,000円～5,000円未満 ■ 5,000円～10,000円未満
 □ 10,000円以上 □ 無回答



■ 1,000円未満 ■ 1,000円～5,000円未満 ■ 5,000円～10,000円未満
 □ 10,000円以上 □ 無回答



2.2.5. 子どもの心理的な状態

「子どもの心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ: Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

(1) 情緒の問題

中学生票問 15

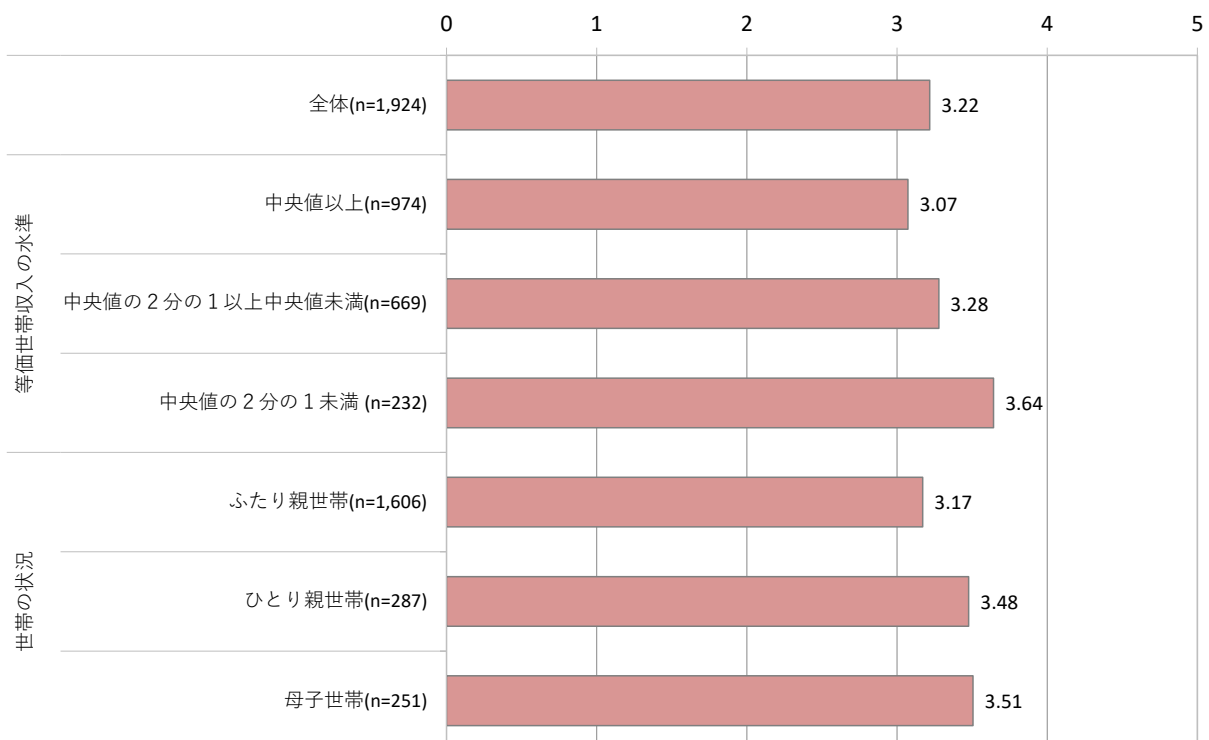
のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0~10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。全体の平均値は3.22となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「情緒の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では3.07、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.28、「中央値の2分の1未満」の世帯では3.64となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では3.17、「ひとり親世帯」全体では3.48、「母子世帯」のみでは3.51となっている。



(2) 仲間関係の問題

中学生票問 15

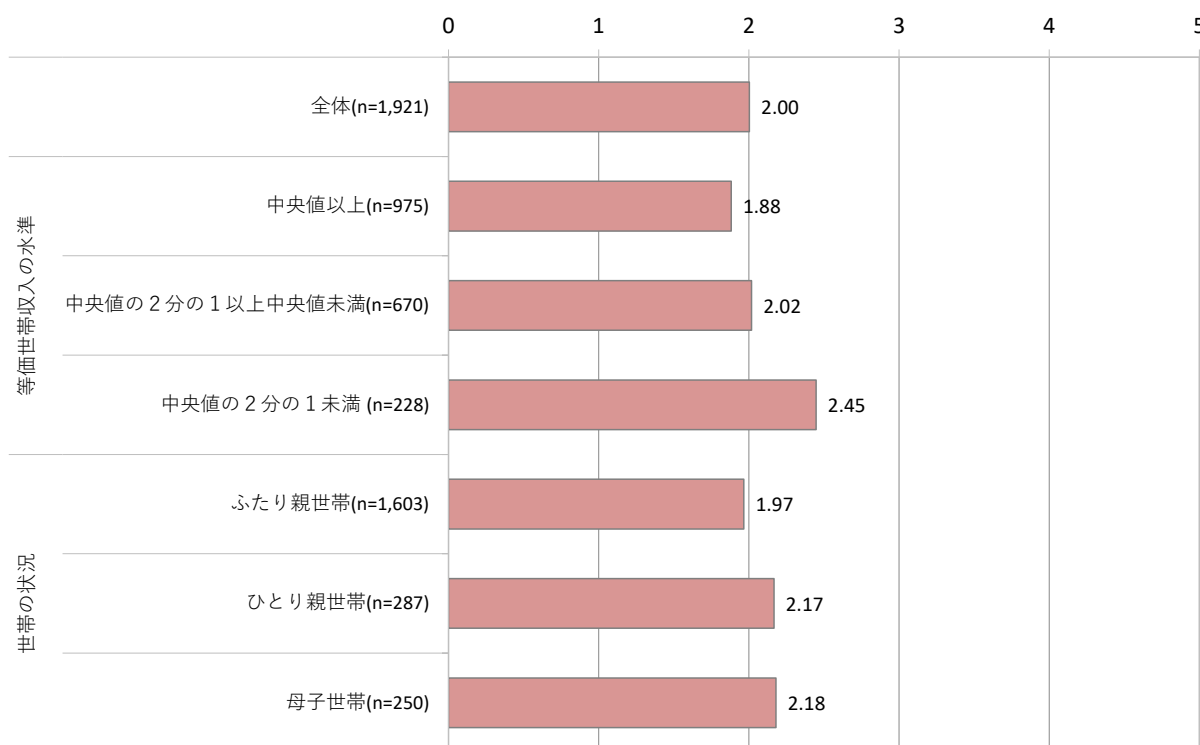
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の人からは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の人から、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の人たちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。全体の平均値は2.00となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「仲間関係の問題」の平均値は、「中央値以上」の世帯では1.88、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では2.02、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.45となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では1.97、「ひとり親世帯」全体では2.17、「母子世帯」のみでは2.18となっている。



(3) 向社会性

中学生票問 15

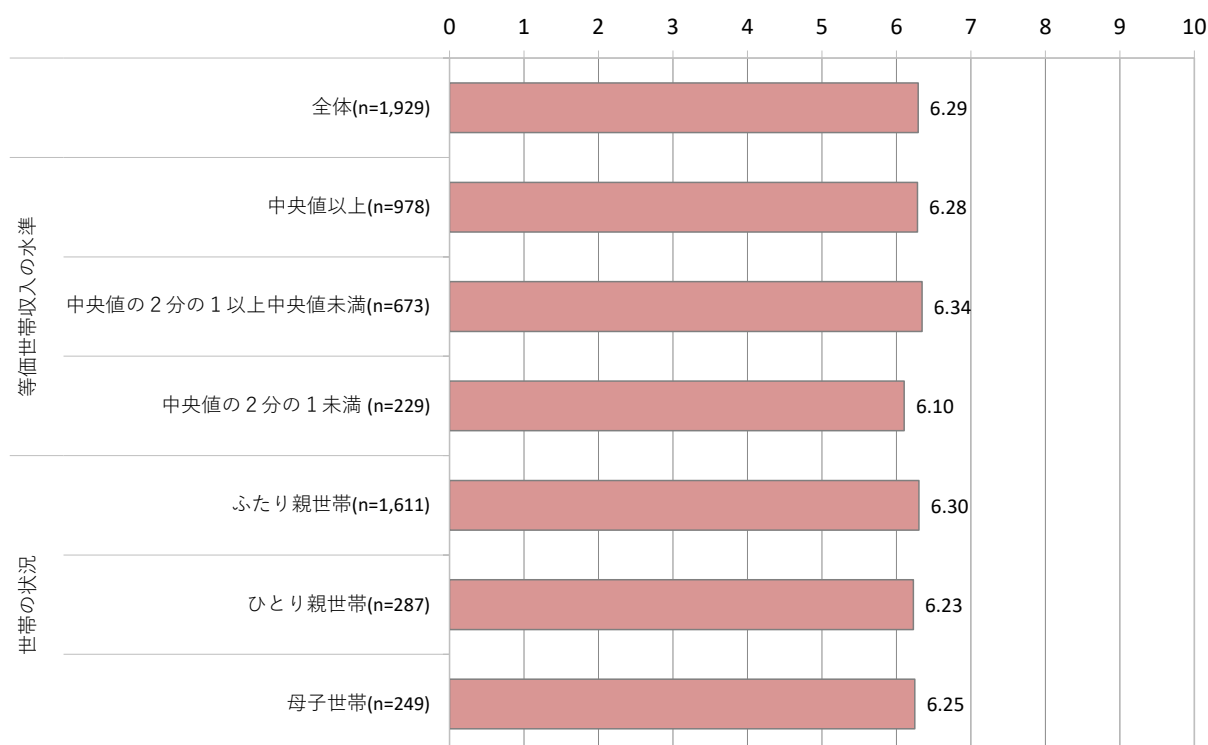
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の人たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の人たちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の人たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点、得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。全体の平均値は6.29となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「向社会性」の平均値は、「中央値以上」の世帯では6.28、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では6.34、「中央値の2分の1未満」の世帯では6.10となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では6.30、「ひとり親世帯」全体では6.23、「母子世帯」のみでは6.25となっている。



2.2.6. 子どもの学力・体力の状態

(1) 学力の状態

中学生票問 15

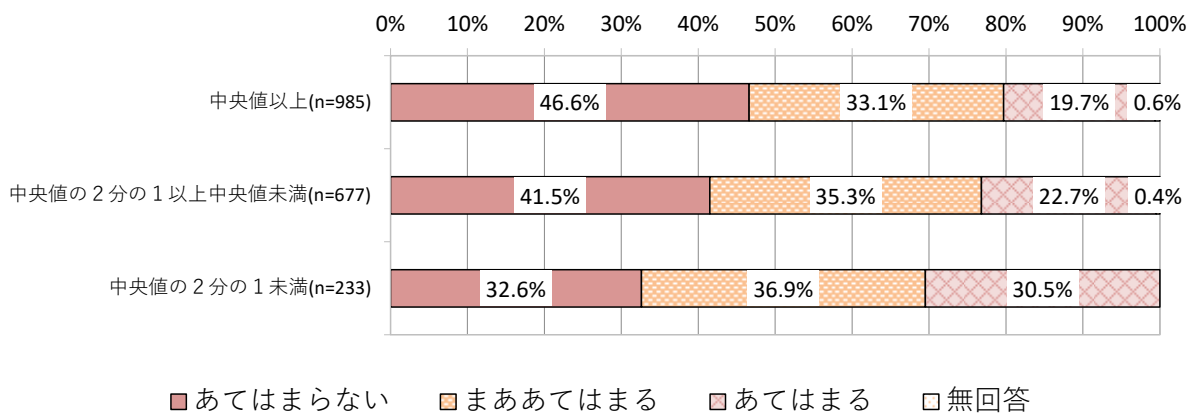
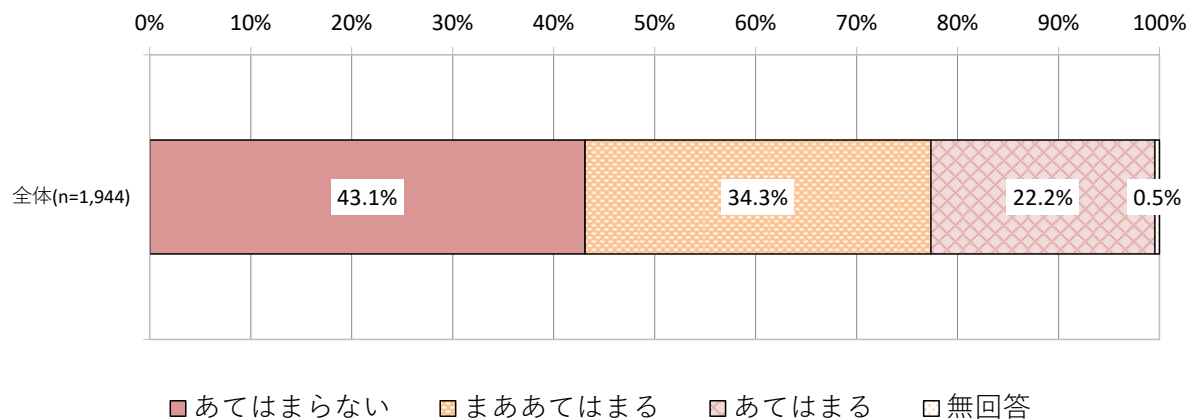
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

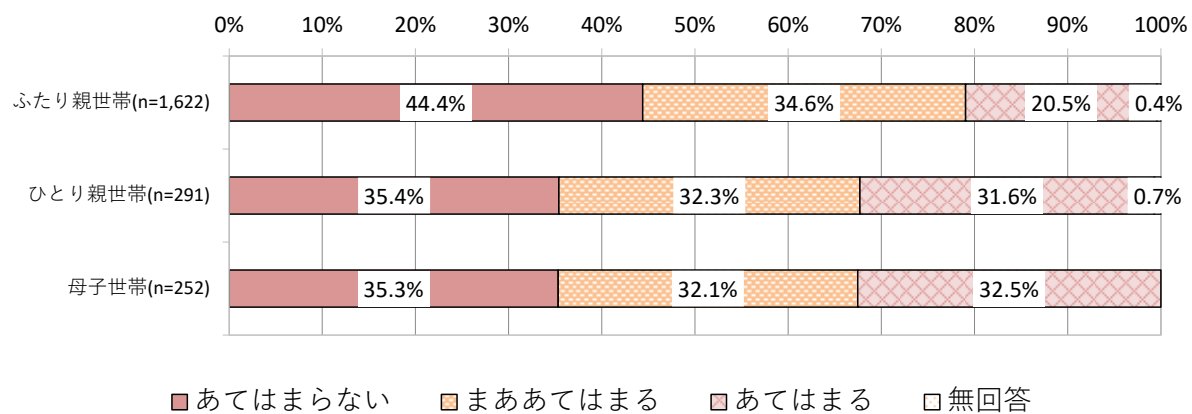
p. 私は、学力が低下している

学力低下の状態については、「あてはまらない」が43.1%、「まああてはまる」が34.3%、「あてはまる」が22.2%となっている。「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は56.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では52.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では58.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では67.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では55.2%、「ひとり親世帯」全体では63.9%、「母子世帯」のみでは64.7%となっている。





(2) 体力の状態

中学生票問 15

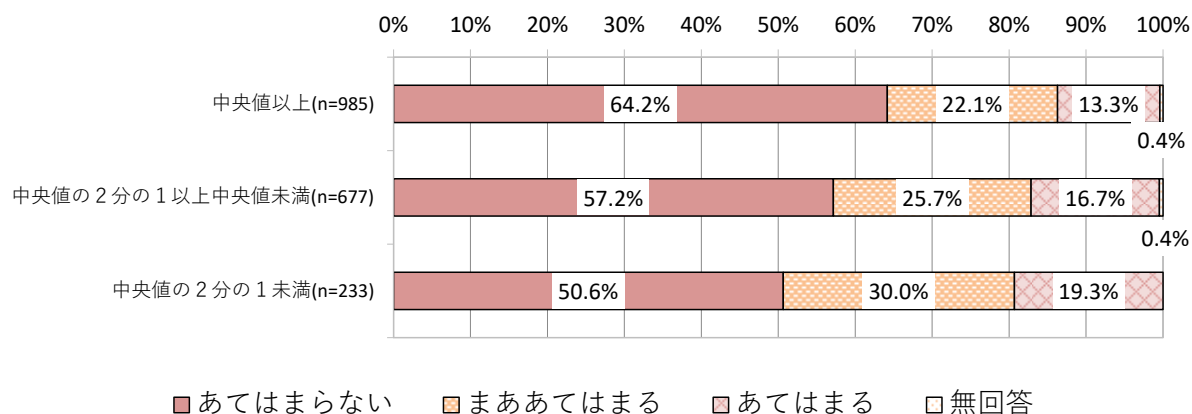
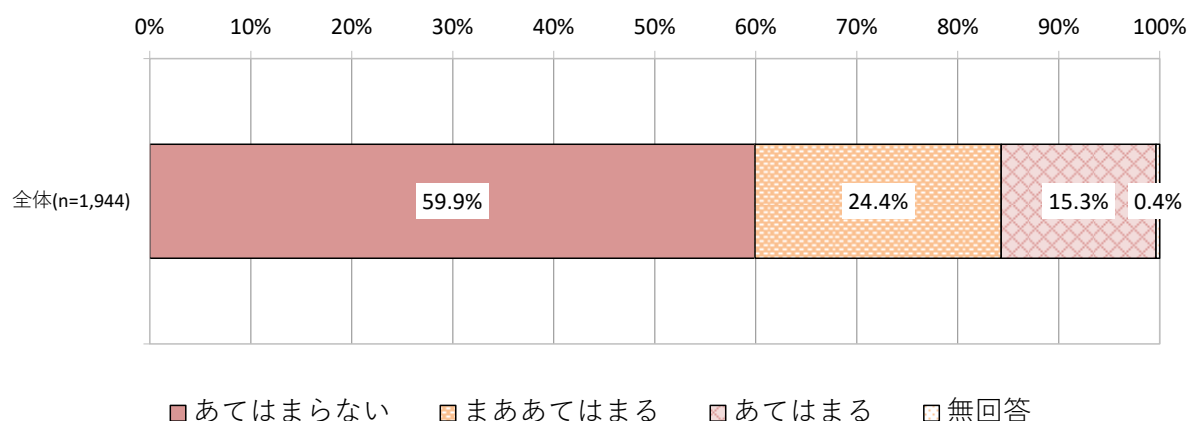
以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

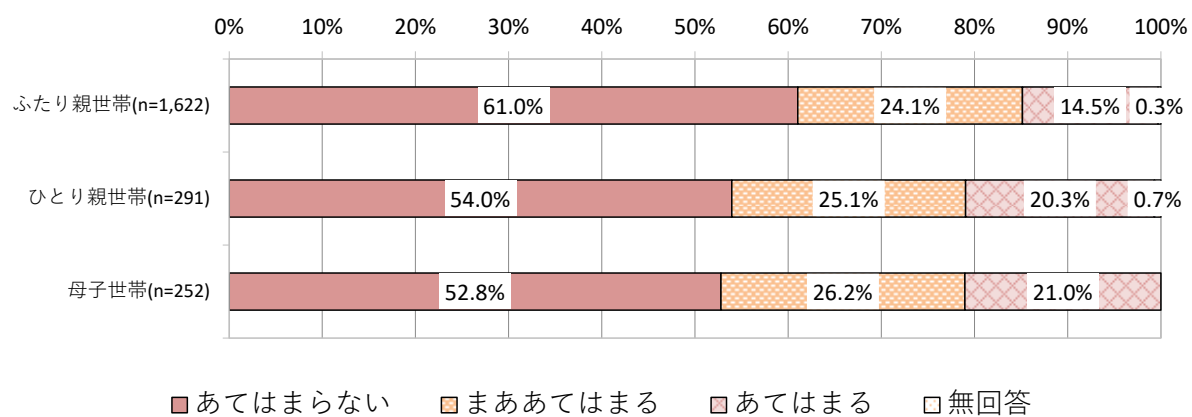
q. 私は、体力が低下している

体力低下の状態については、「あてはまらない」が59.9%、「まああてはまる」が24.4%、「あてはまる」が15.3%となっている。「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は39.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では35.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では42.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では49.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「まああてはまる」と「あてはまる」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では38.7%、「ひとり親世帯」全体では45.4%、「母子世帯」のみでは47.2%となっている。





2.2.7. 逆境体験

(1) 逆境体験

中学生票問 17

あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を教えてください。(SA)

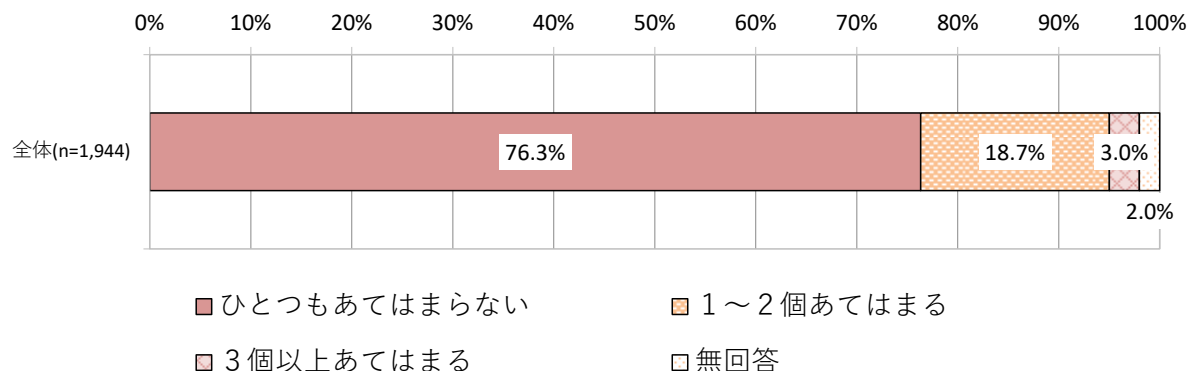
- a. 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b. 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c. 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d. 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e. 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f. 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g. 一緒に住んでいる人に、お酒を大量に飲んだり麻薬を使ったりして、自分の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h. 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

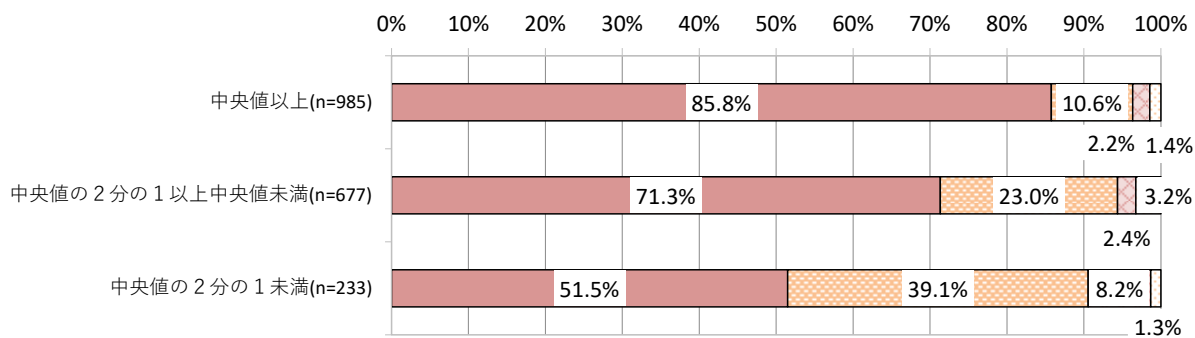
「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。

8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない(0個)」は76.3%、「1~2個あてはまる」は18.7%、「3個以上あてはまる」は3.0%となっている。

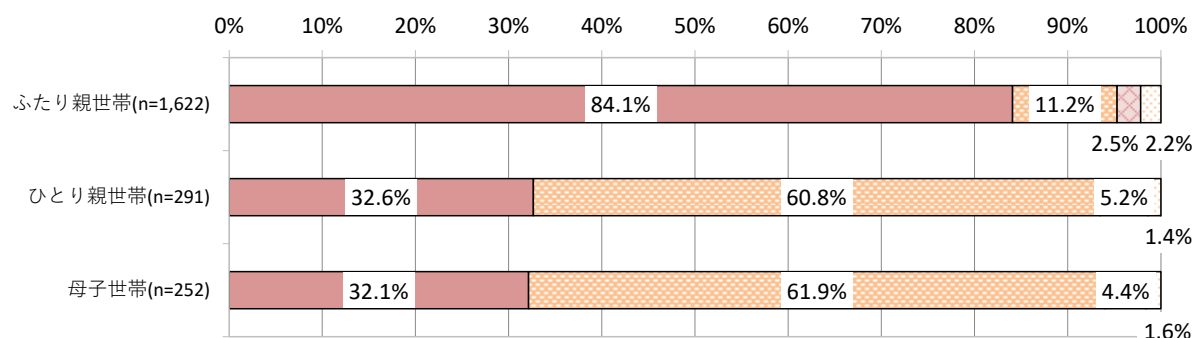
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が51.5%で他の世帯と比べて低くなっており、他方で、1個以上あてはまる割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとつもあてはまらない(0個)」は32.6%、「1~2個あてはまる」は60.8%、「3個以上あてはまる」は5.2%となっている。





■ ひとつもあてはまらない ■ 1～2個あてはまる
■ 3個以上あてはまる ■ 無回答



■ ひとつもあてはまらない ■ 1～2個あてはまる
■ 3個以上あてはまる ■ 無回答

(2) 逆境体験と子どもの状況

逆境体験の経験の有無（「ひとつもあてはまらない（0個）」であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較すると、逆境体験がない場合には生活満足度の平均値は7.58、逆境体験がある場合には6.62となっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、逆境体験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

※生活満足度

